



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区報

BULLETIN 第3号 通巻44号 / 2011.9 発行

西日本区理事主題 Forward with Y's Men's Spirit in our Hearts

—Let's Meet Challenges with Calmness—

「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に—泰然自若の精神で—」

国際会長主題 Once More We Stand 「心新たに立ち上がろう」

アジア会長主題 Once More We Stand 「心新たに立ち上がろう」



「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に

—泰然自若の精神で—」

Forward with Y's Men's Spirit in our Hearts

—Let's Meet Challenges with Calmness—

2010-2011 西日本区理事 仁科 保雄

2010-2011 Regional Director, Japan West Region

Yasuo Nishina

東日本大震災に心残して

西日本区第14代理事として職務を全うさせていただきましたこと、西日本区大会を無事成功裏に終わらせていただきました事を総てのワイズメン・メネットの皆様に対し、大きな感謝とお礼を申し上げます。

14期は期初めより横浜国際大会という大きなプログラムを控え、メンバーの結束を促し、その上で多くの国際的な友人をお作り戴くために、IBC締結とクラブ間交流を進めて戴くようお願いしてまいりました。初めての試みでもありました締結式も国際大会場で行うことが出来ました。また期末の5月には平成の薩長連合と称し鹿児島クラブと岩国クラブがDBC締結を決定されました。

今期、西日本区には京都ZEROクラブと岩国みなみクラブという、2つのクラブをチャーターしていただきました。この件も嬉しく報告させていただきました。

各部会におきましても、全クラブがメンバー増強に全力を傾け、大変な努力をして戴いていることを実感し、今期の皆様のクラブに対する強い思いを全身に受けとめさせて戴きました。事業に対する意欲も大変

Feeling sorrow to the Great East Japan Earthquake

As I could successfully conclude my role as the 14th Regional Director of Japan West Region, I would like to express my heartfelt gratitude to each and every member of Y's Men and Y's Menette.

We started the term 14th with a big event, Yokohama International Convention. To make the bonds between members stronger and make more friends in international wide, we promoted to have more concluded IBC and have active interacts between clubs. We also could have a concluding ceremony for the first time in the Convention. At the end of the term, Kagoshima Club and Iwakuni Club reached an agreement to have DBC conclusion, it was called Satsuma-Choshu Alliance of Heisei era.

It was my honor to announce that Japan West Region could charter Kyoto Zero Club and Iwakuni Minami Club during the term.

In each sectional meeting I could feel the enthusiasm of members towards the clubs and seeing all of them putting a lot of efforts to invite new members. Their volition to projects was always remarkable that it will require more support from Japan West Region. It was making me overwhelmed and very delighted. However we cannot ignore the fact that we are facing the

なもので、西日本区の支援も大変なことになると考えれば、逆にうれしい悲鳴となっていました。しかしメンバー減少は如何ともしがたく、予算を切り詰め、各主任から出される部やクラブからの要求を100%達成することが出来ず、心苦しい場面もありました。

しかしそれ以上に我々を苦悩させる大きな東日本大震災が起り、太平洋沿岸450kmに及ぶ津波災害、そして原発事故の大きさに驚かされ、私たちに課せられた救済支援策をいかに立てるのかを即座に考えざるを得ませんでした。ちょうど3月11日は西日本区次期会長・主査研修会の前日の大震災勃発であり、私たちは急速支援対策はどのようにすべきかを協議する場を得ました。私たちに出来ることは小さな事かもしれませんが、西日本区のメンバーの皆様にご緊急理事通信を発行し、YMCAを通じて支援金と支援物資の送付をお願い致しました。西日本区各部の対応は目覚ましく、大量の支援物資が即座に届けられました。

西日本区は阪神淡路大震災を経験し、その時に今、東日本で被災されている方々から大きな支援をいただいていたので、私も当時、直前会長でありましたので、クラブを挙げてメネットの皆様と炊き出しをさせていただきました。私たちはこのときの感謝は忘れてはいません。今回の西日本区の支援にはこの時の思いが皆様の心のうちにあったのだと思います。

いまだ復興支援活動も先が見えません。何年かかるかわからない状態ですが、私たちは出来る限りの支援をして行かなければならないと思っています。これからも何度か被災地を訪問したいと思いますが、何が出来るのかを考えると本当に不安です。西日本でも安心してられない危険予測もされています。いろいろな困難に打ち勝つために、これからは日本全土を含めた対策が、クラブの運営上でも必要となってくるように思います。なにとぞこれらをお含み戴き、これからの区、部、各クラブの運営をお願い致します。この一年間本当に大きなご努力とご協力を頂き、心より皆様に感謝を申し上げます。

有り難うございました。

decrease in the number of members. It brought us hard times and caused downsizing of the budget and not reaching the requests from chiefs of sections and clubs fully.

However the Great East Japan Earthquake happened and become our more concerns. The tsunami, struck the Pacific Ocean coast for 450km, and the nuclear power plants disaster brought us a great shock. We take it as our duty and had to make plans to support and provide relief aids immediately. March 11th was just one day before the training day for both incoming President and Chief Examiner of Japan West Region. It suddenly became an opportunity for us to discuss how we can provide supports. What we can do may be only a small portion in the whole, yet we published an emergency Regional Director's letter to members and asked them for fund raising and relief goods donations through YMCA. The response of each section was remarkable that we received a great amount of relief goods immediately.

Japan West Region has experienced Han-Shin Awaji Earthquake disaster. When it happened we received a lot of support from people in the Eastern part of Japan who is suffering under the current situation. I was just before to be a president, so I joined emergency rice-feeding activities with Y's Menette members. We've never forgot the gratitude of that time. I believe the support from Japan West Region in the current circumstances was motivated by our feelings from the past.

We still cannot see the way for reconstruction. Even though we don't know how many years it may take, we need to keep supporting as much as we can. I would like to visit the disaster-hit area more, yet I am feeling anxiety about how much I can actually be help for them. Japan West Region said to have a hazard prediction. In order to defeat all the difficulties we need to have countermeasures, considering the whole Japan while managing the clubs. I hope these will be considered in the process of managing each the area, the section or the clubs.

Again, I would like to express my gratitude to all the members for the efforts and cooperation throughout the year.

Thank you.

ご あ い さ つ



2010 - 2011 年度 仁科保雄理事と歩んだ1年

次期理事 浅岡 徹夫
(近江八幡)

仁科保雄理事が西日本区の舵を握られたのが2010年の7月であったが、それから早くも1年が経過した。次期理事の立場で仁科理事と行動を共にさせていただくことも多くなったが、役員として未熟で要領も良く分らない私を、懇切にご指導頂いたことを感謝したい。この1年間は、全ての役員会や常任役員会はもちろん、西日本区の9つの部会全てに出席させて頂き勉強させて頂いた。仁科理事と書記・会計・事務局長のキャビネットは強力で、そのメネット軍団を含めチームワークも抜群であった。事業主任の皆さんも各々素晴らしい働きをされてきた。それに応えて部長の皆さん方も大変頑張っておられた。

順風満帆の仁科号が、さすがに立ち往生したのがあの3月11日東日本大震災であった。テレビを通して伝えられたあの災害はこの世のものとは思えないすさまじいものであった。さらにその後の原発事故問題は深刻な被害を拡散し、復興を妨げる大きな壁になっている。国難とも言える未曾有の大災害を前にして人間の非力さを思い知らされた。しかしそんな厳しい状況の中で、被災者の辛抱強い姿や互いに助け合う姿が心を打つ。茶髪の若者が照れ臭さげに献金する姿にも感動する。余りに甚大な被害で初期段階ではボランティアも入れない状況であったが、YMCAとワイズは俊敏に動き、緊急物資を被災地に送り届けることが出来た。ワイズとYMCAが連携する強みを実感した瞬間だ。西日本区は被災地から遠く離れていたにも関わらず、献金額では東日本区を上回った。東日本大震災復興支援はむしろこれからであり、私たちに与えられた使命として息長く取り組んで行く必要がある。

6月に京都で行われた西日本区大会は、1000名近い参加者を迎えて盛大に開催された。それは仁科理事期の成果を飾る大会でもあった。横浜国際大会を始め、多くの課題を克服してこられた仁科理事期の役員の方々に拍手を送りたい。そしていよいよ私達の出番である。取り巻く環境は大変厳しいものがあるが、頑張る前に進み

たい。皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



会員増強はクラブ活動 の充実から!

直前理事 鈴木 誠也
(神戸ポート)

仁科保雄理事を直前理事としてお支えする役を終えるのですが、お支えするほどのこともなくスムーズな運営に敬服してまいりました。EMC強調に力をいれられ、昨年6月末～本年6月末会員数は31名の増となりましたが、相変わらず6月の減少は避けられていません。何とか2,000名を確保したいものです。

直前理事の大きな役目は次期における次々期理事の候補者指名作業ですが、西中国部のご協力によって若手の高瀬稔彦ワイズ(岩国みなみ)を指名することが出来ました。今後理事スタッフとして事業主任や委員をお願いすることになりますので、西中国部は勿論すべての西日本区を挙げてご支援を賜りますようによろしく願いいたします。

昨年理事を終えるに当たり第4回役員会では私のミスリードによって大変なご迷惑とご心配をお掛けいたしました。地域奉仕・環境事業委員会による「エイズで学ぶ」報告書につきましてはこの1年間を掛けて西日本区のワイズメンズクラブとYMCAに対してお届けすると共に、地域の教育委員会を通じて中学校、図書館、及び保健所に届けさせて頂き、有効に使って頂いております。西日本区事務所での在庫は無くなりました。みなさまのご協力で深く感謝いたします。

私はこれから2年間は監事としてお任せさせて頂きますので、出来るだけ多くの活動情報をお届け下さいますように、よろしくお願いいたします。

クラブ活動の充実を深めましょう。親睦と奉仕活動を深め、楽しくなるクラブ活動が出来れば、退会者は少なくなるはず。西日本区としては、毎年新入会者を100名以上迎えているのですから、退会者が無くなれば、3年間で2,000名に達するはずなのです。

クラブの中のプログラムや人間関係等によって退会したい人を出さないように心がけましょう。



竣工式

書記 柳 慎司
(京都キャピタル)

「自己研鑽」ワイズでよく使われる言葉ですが、私自身としましては西日本区書記と言う大役を頂き、ワイズとして、一社会人として、成長させて頂きましたことに感謝申し上げます。

この平成不況の中、思うように仕事が進まないこともあり、苦しい時期もございましたが、役職を通して、何よりも得がたい友人、ワイズ仲間を得たことは最高の財産となりました。一年間、西日本区書記として一番気にかけてきたことは、仁科保雄理事のサポートは勿論ですが、区役員同士のコミュニケーションです。同じ志を持った同志ワイズであっても、個々の考え方や地域も違います。YMCA との関わり方も違います。このような中、一堂に会し役員会を持つわけですから、多少の行き違いもあるのは、ある意味当然の事だと思います。しかし、書記として、「話し合えば解る」この信念の為には、コミュニケーションが一番必要であると思ひながら、役員会等での司会進行をつとめさせて頂きました。加えてワイズの友情にて、各主任・各部長・各委員長より、温かく進行を見守って頂きましたことに心より御礼申し上げます。

只今、西日本区書記としての資料を整理中ですが、懐かしくもあり、悩み考えた資料が目にとまります。各役員会に於ける司会進行表といいますが、司会原稿です。それこそ事細かに、「おはようございます」から始まり、各部長・各委員長からの質問等を想定し、返答内容も数パターン用意し、時には場を和んで頂く為にヘタなジョークも取り混ぜて、会計・各主任・事務局との連携は、自画自賛ながら磐石の体制を整えたつもりです。これこそが仁科理事の副題「泰然自若の精神で」と確信しております。

さて、「第14回西日本区大会」竣工式は如何でしたでしょうか…。2年前から計画し、基礎固めは勿論ですが、個々の事業も着実に進めて頂き、皆様方のご理解とご協力にて、ここ京都の地に立派な城を築く事が出来ました。「東日本大震災」の影響もあり、大会メインテーマを「おーきに！陽気に！京都から」を「おーきな！元気を！京都から」へ変更し、「前夜祭」も「前日夕食会」とさせて頂き、出来る限りのお祭り感を自粛させて頂き

ました。「第4回役員会」「代議員会」に於いては、短時間ですので、少々強引なところもございましたが、ご容赦頂きたく思います。

今思えば、特に役員会に於いては時間に囚われ、より良く役員の方々のご意見主張等をお聞きする場を奪ったのではないかと反省しております。

最後に仁科理事より「小さな巨人」と言って頂けるようなお役を頂き有難うございました。ワイズ暦18年「感動」「感激」「感謝」最高の年となりました。



一年間の仕事を終えて

会計 田中 雅博
(京都キャピタル)

2011年6月30日をもって、一年間の西日本区会計並びに財務委員会委員長としての仕事を何とか無事に終えることが出来ました。これは偏に各部の部長の皆さま、各事業主任の皆さま、常置委員会の委員長の皆さま、財務委員会の杉本隆人さん並びに三原茂靖さん、西日本区事務所の北村久美子さん、そして西日本区の全てのメンバーの皆さまの絶大なるご協力の賜物と心より厚くお礼申し上げます。有難うございました。

また決算も皆さまのお陰をもちまして支出を削減することができ、当初の目標でありました“財政の健全化”に一歩近づけたと思っております。本当に皆さま有難うございました。

この一年間の仕事を振り返ってみますと、期のはじめに目指していた「会計の職務を忠実に確実に実行する」ことに関しては、皆さまのご協力を得ながら何とか全うできたのではないかと思います。しかし一年間、特に後半の数ヶ月間において、西日本区会計の本来の仕事は事務作業だけではなくて、実務にこそあるのだと感じました。会計の実務とは、財政の健全化を目指しながら西日本区の事業が円滑にまた活発に行われるよう尽力しかつ提言などをさせていただくことではないかと思います。すなわち「事務と実務の両立」が重要であるとうまく会得したように思います。そしてこれからの一年は財務委員会の中で、この会得したことを活かせるよう努力をしていきたいと思ひます。

さて財務委員会における大きな課題であります“新しい会計システムの構築”についてですが、半期決算と期

末の本決算の作業を終えて、このことにつきましては私の中では大きな進展があったように感じております。それは、第一に現在の会計システムには改善しなければいけないような大きな問題点はないこと。第二に今まで受け継がれてきた会計原則を改めて整備し直す必要があること。この二つの点です。

そこで今年度の結論といたしましては、現在の会計システムを改良して会計業務のより一層の簡素化を目指すことといたしました。そしてどこをどのように改良するかを明確に判断できるように、現状の会計原則を明文化いたしました。次年度の財務委員会においては、この会計原則に則った処理を進める中で会計システムの改善が図れることと思います。杉本直前西日本区会計から引き継ぎました、この大きな命題に一定の筋道が付けられましたのも多くの皆さまの助言と尽力のお陰でございます。この紙面をお借りしまして、改めて厚く御礼申し上げます。

この一年、会計らしい自分になれるよう、自分らしい会計の職務ができるようにと努めてまいりました。しかしともに道半ばで終わってしまいましたが、私の中には大きな充実感があります。この間本当に多くの方に出会い、多くの方に支えていただきました。そしてその出会いに、そのお支えに心より感謝を申し上げたいと思います。その感謝の思いが私の充実感なのだと思います。

会計の仕事は、終わってみればなかなか楽しいものでした。感謝。



ワイズ活動への感謝

行政監事 佐藤 典子
(熊本ジェーンズ)

「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」とテーマを掲げられた仁科保雄理事のリーダーシップのもと、役員皆さま、すべてのワイズメン・メネットの皆さまのご奉仕によって今年度もワイズ運動を推進できましたことに心からの感謝を申し上げます。

最初に、すべての区役員会や常任役員会が西日本区定款をはじめとする諸規則に則って運営され、西日本区におけるワイズ活動を推進していただきましたことをご報告申し上げます。

2010年度は、第69回国際大会ではじまりました。横浜国際大会は、藤井寛敏国際会長のもと、世界各国から総

勢1,555名の参加をいただき、西日本区からの登録も368名でした。私も実行委員の1人として東京に何度も足を運び、当日は「グリーンシェルフ」として環境問題に関連したボランティアを担当いたしました。

そして、次期会長主査研修会の前日、3月11日に東日本大震災が発生いたしました。仁科理事をはじめ常任役員皆さまの判断のもと、YMCAとともに情報共有と長期的なビジョンに立った支援協力を一致して取り組んでいただいた事に心から敬意を申し上げます。仁科理事の現地視察にも感謝申し上げます。一過性の支援ではなく、共に生きる社会として被災の皆さまに寄り添った活動を長期に行って参りましょう。第14回西日本区大会では、「おおきな！元気を！京都から！」とテーマを変更され、東日本大震災復興に心を寄せるすばらしい大会でした。

最後に、昨今のワイズ活動を顧みますと力強い活力を感じなくなっています。何か不足しているように思います。私たち自身が親睦と奉仕からの感動を経験して成長へとつながり、また新しいワイズメンの誕生を目指すべきではないでしょうか。「私たちワイズは、いかにあるべきか」、この大いなるビジョンを浅岡徹夫次期理事、成瀬晃三次々期理事にお願い申し上げます。監事報告といたします。



経常会計の推移

財政監事 神谷 尚孝
(和歌山)

2005年度阪和部長で長年親しく交流する恵美奈博光氏(大阪サウスクラブ)から、部会の折りに別室に呼ばれ、西日本区理事就任を柴田善朗理事と共に要請されたことを思い出します。

あれから6年、皆様方から多くのことを学ばせて戴きながら、不十分ながら誠心誠意西日本区の為に務めさせて戴きました。

さて、本年度 仁科保雄理事期キャビネットの皆様は、区運営の知識に長けたメンバーが多く、横浜国際大会開催支援、東日本大震災救援支援など、例年になく大きな活動がありましたが、全て無事に対処され西日本区の活動を導かれました。

直前・本年・次期会計で構成される財務委員会は、今年度5回開催されましたが全てに陪席しました。各部会へも全て参加し、学びと楽しい交流が出来たことに感謝

しています。

財政監事の最後の務めとして、過去5期の西日本区経常会計を表にしました。この推移から区の運営に多くの会員が関心を持って下されれば幸いです。

今後の課題は、会計原則をしっかりと確立する事と、会計システムの簡素化を実現する事です。数期にわたり検討努力されて来ましたが、早い時期に実現することを願っています。

年 度	前年度繰越金	当年度収入計	次年度繰越金	期中増減	備 考
2006～7	14,733,321	30,144,783	12,359,665	▲ 2,373,656	
2007～8	12,359,665	31,902,343	7,991,583	▲ 4,368,082	
2008～9	7,991,583	35,839,651	5,700,671	▲ 2,290,912	会費 1000 円増
2009～10	5,700,671	35,645,129	9,168,644	3,467,973	3 年間国際大会
2010～11	9,168,644	34,797,558	13,050,751	3,882,107	支援金 500 円

ワイズメンズクラブ国際協会から



国際協会のビジョン

国際会長 藤井 寛敏
(東京江東)

西日本区の皆様のご支援により1年間に亘る国際会長のお役を何とか務めることができました。心より御礼申し上げます。昨年1年間に8回の海外訪問で各地の沢山のワイズメンとの交流の機会を持つことができました。

年度のスタートでありました、第69回国際大会横浜の前に開かれました国際議会におきましては、さまざまな決定がなされました。その中で特筆すべきは、3年前から10年後の2020年にわれわれの有るべき姿を示すべく“Vison2020”の作成が検討されておりましたが、ワイズ100年を迎える2022年を目標とする“Vison2022”に名前を変えて承認されました。その骨子は国際憲法に示されたわれわれの姿に加えて、「・国際志向の ・若者の成長に焦点を当てる ・YMCAばかりでなく国連や他のふさわしい団体との連携を強める」団体を目指すとしております。そして2022年にはわれわれの運動が50,000人、100カ国に広がっているという夢も加えられております。これらは2006年にわが組織が国連の経済社会委員会の諮問機関の1つとして認められたきっかけである、STOP・HIV/AIDSの5年間に亘る運動や2008年に1年間実施されたロールバックマラリアの手ごたえがベースになっております。昨年度はまた5年間にわたる500,000スイスフランを目標とするロールバックマラリア運動がスタートし、横浜国際大会では「環境宣言」が採択されましたことは皆様ご存知の通りであります。

すなわちこれらの運動は国連が現在、国際が抱える



様々な社会問題を解決するために2000年に定められた2015年を最終期限とする8つの項目からなる“Millennium Development Goal”と共にこのゴールのいくつかに対応しているY M C Aの掲げる“Global Citizenship”に対応するものであります。そしてこれらの運動への積極的な参加は我々の組織が社会の変化に対応する組織となるべく、第1歩であると確信しております。

国際議会ではこの“Vison2022”を具体的に実現すべく推進チームである“Towards2022”の設立が承認されました。これは従来から国際のリーダーを中心に進められてきたForward Plan(EMC, CS, Youth, Leadership Training, YMCA Serviceの強化推進チーム)や他の分野における運動にワイズイメージ特別委員会、国際議会改革特別委員会を加え、一体的に2022年には社会の変化に対応した生まれ変わった組織となることを目指す推進チームであります。ワイズイメージにおいては我々の組織の名称(ワイズメンズクラブ)やロゴの再検討、国際議会改革では国際議員数の削減、エリアからの最大議員数の設定、若者(ユースまたはヤングワイズメン)の議会参画などの検討がすでに横浜での5月にカナダで開かれた研修会、6月のインドでの国際議会で議論が始まっております。我々が課題としている会員数の停滞や高齢化の問題もTowards2022の推進の中で解決してゆこうとするもので



す。皆様のご協力をお願いいたします。

また初めての試みとして毎月“Family Letter”を発行し、私の活動報告、国際のリーダーの紹介や、やや手前味噌ではありましたが日本のワイズの紹介をさせていただきました。

3月11日に日本を襲った東北地方大震災に対して国際でも“GAMBARE NIPPON”キャンペーンを立ち上げました。すでに世界中のワイズメンから1000万円を越える支援金が寄せられており、世界中のワイズは一つの家族であることを実感しております。

貴区におかれましては各種国際事業への際立ったご協力はもとより、数年来の歴代理事やリーダーの皆様の“決してあきらめない”リーダーシップによるご努力が仁科保雄直前理事の昨年度から結果が現れはじめ、会員数も増加に転じたと伺っております。

我々のこの意義のある運動を、一つでも多くの国に、また一人でも多くの人に、参加してもらい、よりよき世界の実現を目指しましょう。

西日本区のますますのご発展を祈っております。ありがとうございました。



西日本区のお働きに感謝

アジア地域会長 高田 一彦
(横浜)

「飛翔たとうワイズスピリットを胸に」を主題に掲げられた仁科保雄西日本区理事をはじめとする西日本区ワイズメン、メネットの皆様、2010 - 2011年度のワイズダムへのお働きにアジア会長として心より感謝申し上げます。

昨年8月に開催された横浜国際大会への西日本区よりのご協力には、大会当日の実働委員としての協力ばかりではなく、財政面も含めて数年にわたるご支援に感謝したいと思います。世界のワイズメンに対して格別のインパクトを与えた大会であったと誇れるのも、東西日本区

皆様の協力の賜物であったと評価されると思いました。

今期は昨年8月の京都ZEROクラブのチャーターからスタートされ、今年の5月にも岩国みなみクラブのチャーターと続き、アジア会長目標の各区2クラブの新設を見事に達成されました。真にしっかりとメンバーのベースを確保されており、1,720名を回復されたことはワイズ運動のベースとなるEMC事業の成果が発揮されたものであると思います。

3月11日の東日本大震災に対する西日本区の迅速な支援対応には、さすが西日本区と言う本領を発揮され、今なお継続した支援が、クラブおよび西日本区全体として実行されていることに感謝いたします。

今期の締めくくりとして、6月11日より「おーきな！元気を！京都から！」のスローガンのもとに京都の地にて開催された西日本区大会は、東日本大震災を考慮に入れながらも、これら乗り越えて行こうとする西日本区の心意気を感じました。さすがに西日本区という元気一杯の大会となり、9部長より素晴らしい部会等の活動報告および事業主任の皆様方の実績報告また、メネット事業の活発的な展開を伺い、まことにワイズのワイズらしい働きをされていると感服しました。

さて、アジア地域に目をむけてみますと、2010年8月4日の国際議会で韓国5区のExtensionが正式に承認され、2011年7月1日より韓国地域として世界で9番目の地域として独立することになりました。従って、新アジア地域は、東・西日本、台湾、スリランカ、フィリッピン、南東アジアの6区となります。

引き続き8月7日のアジア会議では、国際議会の承認を受けて国際議員の数が各3人づつになることが決定され、これまでのアジア地域の資産分割やオフィスの件についてのタスクがアジア・韓国両地域にて結成され、アジア地域としては長尾ひろみ委員長が就任しました。

年央会議においては、財産の2分割が承認され、アジア地域と韓国地域の今後の協力体制などについての合意文書が交わされました。また、アジア地域のオフィスとしては、香港にあるアジア太平洋YMCA同盟の事務所に設置されることに決まり、香港区のボランティアが事務をサポートしてくれることになりました。

12月に韓国ソウルで行われた次期理事研修会においては、韓国地域と新アジア地域からの次期理事（西日本からは浅岡次期理事）11人が一堂に会して研修を行いました。分科会では2つのエリアに分かれての話し合いが持たれました。また、アジア地域の次期会長には、Wichian

Boonmapajorn 氏（タイ）が就任し、空白となっていたアジア地域の国際議員には台湾の Oliver Wu 氏が選出され、自動的に次次期アジア地域会長に選出されました。

さて、ワイズの国際的な趨勢をみてみますと、全世界で約三万人のワイズメンバーの中で、約一万人を占めるアジア地域から、この7月1日より韓国の5区（約6千人）が韓国地域として独立することになりますと、新アジア地域約4千人の中で西日本区の存在は、約1,700名を占める所帯となります。メンバー数としてはNo.1の区となり、その他の数々の貢献度からも、西日本区としての存在が如何に大事になるかは明白の事実として認識して頂きたいと思います。特にアジア地域の国際議員の数が、2012年度より2人となりますが、国際における日本の立

場を考慮する必要があると思います。

今期の私のアジア会長としてのスローガンは、「世界平和をワイズの手で」としてありますが、日頃の地域へ発信する地道なワイズ活動が世界平和につながることを願っているものです。

現在継続されている数々の地域社会へのCS活動を通して、新年度に向かって浅岡徹夫理事の下に、ワイズダムの目標へ向かって進んで頂きたいと思います。日本は前代未聞の災害に見舞われており、今後の長い支援体制が必要となりますが、阪神淡路大震災を経験された西日本区としては、日本全体への復興支援のリーダーシップを大いに発揮して頂きたいと思います。

日本 YMCA 同盟から



あらためて「泰然自若の精神で」を考える
～ワイズスピリットが飛翔つとき～

連絡主事 光永 尚生

この原稿を書かせていただいているときに、大相撲の魁皇関が、かの大横綱千代の富士の生涯勝ち星を抜き、歴代一位となりました。九州出身の身としては、福岡県の皆さんと共に喜んでおります。また、もうひとつの興味は、既に大横綱の域に達した横綱白鵬関の8連覇ですが、彼が尊敬する大横綱の双葉山の言葉に「後（ご）の先（せん）」という言葉があります。その意味は、「簡単ほど難しい」、「勝ちに行かない」、「単純の裏にある深さ」だといえます。その極意は、「人間の大きさ、心の強さ、豊かさ」そして「最強への道はまさにこのことを究めることである。『我いまだ、木鶏（はくけい）たりえず』」とのこと。

2010-2011 年度の仁科理事期方針、「飛翔たとうワイズスピリットを胸に - 泰然自若の精神で -」を想いながら一年を振り返るとき、改めて「後（ご）の先（せん）の極意」を考えさせられています。多くのワイズメンがその与えられた多くの賜物を結集させて、ワイズメンズクラブ西日本区を構成し、その力をつなぎ、継続させていくことがどれほどの努力と奉仕の精神による結果であるか。自分自身が、連絡主事を拝命してからはじめてこの感覚を強烈に感じた一年でした。まさに、絶妙なチー

ムワークであったと体感しています。

しかしながら、多くの賜物が、多くの果実となりかけてきた3月11日に、突然の嵐がやってまいりました。嵐は、ほぼすべてのものを飲み込み、私たちの生活だけでなく人生そのものの枠組みが変えられたようにも感じられます。実際に、多くの方の尊い生命が奪われ、そして思っても見ない人生を歩んでいる人たちが存在していますし、私たち自身もその一人でしょう。心と身体を病む人も多く、心が痛む毎日を今も送っています。

このような中であって、私たちは改めて「泰然自若の精神」を自らに問いかけるときではないかと自問自答しています。そして、私たちのワイズメンズクラブが大切にしてきた、ワイズスピリットとは何かが問いかけられているのではないのでしょうか。

私たちは、「後（ご）の先（せん）の極意」は極められませんが、その意味を考え続けることは出来ると思っています。YMCA にあっても大切にしてきた、「継続」と「蓄積」を胸にその「精神」をこれからも大切に温めていきたいものです。

皆様的一年間のご奉仕に対して、心から感謝とお礼を申し上げます。そして、これからのワイズメンズクラブの良き働きが、いつも主の導きによって祝福されることをお祈りしています。

～聖書の言葉～

「祈り求めるものは、すべて既に得られたと信じなさい。」 新約聖書 マルコによる福音書 11章 24節

2010年～2011年度 西日本区会計 経常会計収支計算書

(2010年7月1日～2011年6月30日 12ヶ月間)

西日本区会計 田中 雅博

経常会計

貸借対照表

2011年6月30日現在

借方			貸方		
科目	内容	金額	科目	内容	金額
現金	理事事務局	81,500	預り金	CS資金	4,425,894
	区事務所	350,362		FF資金	2,678,647
郵便貯金	木川東郵便局	4,868,246	現金	次期理事事務局	2,000,000
普通預金	三菱東京UFJ 大阪	7,792,073	繰越金		13,050,751
定期預金	大阪信用金庫	2,016,064			
	三菱東京UFJ 大阪	5,047,047			
仮払金	次期理事事務局	2,000,000			
合計		22,155,292	合計		22,155,292
外貨預金		\$0.00	ドル繰越金		\$0.00

ドル預金の収支計算書(単位ドル)

前年度繰越金	0
当年度換金額	0
EF献金	2,000.00
当年度受取利息	0
収入計	2,000.00
地域会費 アジアへ送金	0.00
ASF 国際へ送金	0
BF 国際へ送金	0
TOF 国際へ送金	0
EF 国際への送金	2,000.00
メネット事業 国際へ送金	0
支出計	2,000.00
差引 残高	0.00

2010～2011年度 西日本区収支計算書

期間：2010年7月1日～2011年6月30日(12ヶ月)

2011年6月30日現在

収入の部

項目	予算額	実行額	進捗率	差額
西日本区会費	24,960,000	23,662,500	94.80%	-1,297,500
連絡主事会費	324,000	322,000	99.38%	-2,000
特別メネット会費	304,000	304,000	100.00%	0
区大会支援金	904,000	918,500	101.60%	14,500
入会金①②	815,000	1,056,000	129.57%	241,000
加盟金	20,000	17,400	87.00%	-2,600
国際大会支援金	2,500,000	1,579,500	63.18%	-920,500
名簿売上	3,325,000	3,169,500	95.32%	-155,500
研修会参加負担料	3,600,000	3,648,000	101.33%	48,000
Eメール使用料	34,000	34,000	100.00%	0
預金利息		7,898		7,898
雑収入	150,000	668,260	445.51%	518,260
当年度収入計	36,936,000	35,387,558	95.81%	-1,548,442
前年度繰越金	9,168,644	9,168,644	100.00%	0
円貨合計	46,104,644	44,556,202	96.64%	-1,548,442

支出の部

項目	予算額	実行額	進捗率	差額
国際会費	5,418,000	5,025,481	92.76%	-392,519
地域会費	756,800	562,865	74.37%	-193,935
国際加盟金	20,000	18,154	90.77%	-1,846
代議員会旅費	800,000	538,600	67.33%	-261,400
理事費	220,000	220,000	100.00%	0
事務局役員費	120,000	120,000	100.00%	0
事業主任費	280,000	280,000	100.00%	0
監事費	40,000	40,000	100.00%	0
部長費	360,000	360,000	100.00%	0
委員会会議費	285,000	24,465	8.58%	-260,535
広報関係費	2,300,000	2,122,940	92.30%	-177,060
部活動支援費	1,235,400	1,218,000	98.59%	-17,400
クラブ設立祝金	200,000	200,000	100.00%	0
区大会支援金	904,000	918,500	101.60%	14,500
区事務所運営費	3,140,000	2,302,487	73.33%	-837,513
区事務所賃借費	1,440,000	1,571,668	109.14%	131,668
会議費	500,000	414,764	82.95%	-85,236
旅費交通費	2,300,000	2,253,280	97.97%	-46,720
通信費手数料	880,200	621,869	70.65%	-258,331
印刷費	500,000	441,800	88.36%	-58,200
理事事務局費	120,000	94,200	78.50%	-25,800
用品費	910,000	321,690	35.35%	-588,310
名簿作成費	2,866,500	2,814,588	98.19%	-51,912
研修会費用	3,900,000	3,872,360	99.29%	-27,640
事業費 * 別紙	3,478,000	2,155,460	61.97%	-1,322,540
国際大会支援金	2,500,000	2,500,000	100.00%	0
未払金	417,280	417,280	100.00%	0
雑費	50,000	75,000	150.00%	25,000
当年度支出計	35,941,180	31,505,451	87.66%	-4,435,729
次年度繰越金	9,168,644	13,050,751	142.34%	3,882,107
円貨合計	45,109,824	44,556,202	98.77%	-553,622

事業費

期間:2010年7月1日～2011年6月30日(12ヶ月間)

収入

2011年6月30日現在

項目	予算額	実行額	進捗率	差額
Yサ・ユース献金	2,050,000	2,141,200	104.45%	91,200
TOF 献金	2,350,000	2,521,401	107.29%	171,401
(CS 献金)	2,080,000	2,415,655	116.14%	特別会計へ
(FF 献金)	1,176,000	1,027,310	87.36%	特別会計へ
BF 献金-現金	2,250,000	2,342,753	104.12%	92,753
BF 献金-切手	0	53,691		53,691
EF 献金	500,000	366,000	73.20%	-134,000
(JWF 献金)	1,000,000	695,000	69.50%	特別会計へ
RBM		563,569		
合計	7,150,000	7,988,614	111.73%	838,614

支出

項目	予算額	実行額	進捗率	差額
Yサ・ユース事業費	2,828,000	2,650,281	93.72%	-177,719
TOF 国際送金	2,350,000	2,521,401	107.29%	171,401
(CS 支援金)	2,080,000	2,146,347	103.19%	特別会計へ
(FF 支援金)	1,176,000	764,800	65.03%	特別会計へ
地域奉仕・環境事業費	180,000	73,700	40.94%	-106,300
BF 国際送金	2,250,000	2,396,444	106.51%	146,444
EF 国際送金	500,000	366,000	73.20%	-134,000
ファンド事業費	180,000	107,975	59.99%	-72,025
EMC 事業費	530,000	323,200	60.98%	-206,800
交流事業費	330,000	18,900	5.73%	-311,100
広報事業費	180,000	61,200	34.00%	-118,800
メネット事業費	500,000	413,100	82.62%	-86,900
理事特別事業費	200,000	0	0.00%	-200,000
(JWF 基金へ)	1,000,000	695,000	69.50%	特別会計へ
RBM		563,569		
共通経費(表彰費等)	600,000	648,304	108.05%	48,304
合計	10,628,000	10,144,074	95.45%	-483,926

	-3,478,000	-2,155,460		
--	------------	------------	--	--

網掛け部分の金額は合計には加えない

2010～2011年度 特別会計

2011年6月30日現在

JWF基金

科 目	金 額	科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	28,333,602	普通預金	2,960,036	三菱東京UFJ 大阪
当年度献金収入	695,000		109,035	三井住友
受取利息	94,292		1,013,722	大阪信用金庫
		定期預金	10,000,000	三菱東京UFJ 大阪
			10,038,421	三井住友
残高証明手数料	-1680		5,000,000	大阪信用金庫
合 計	29,121,214	合 計	29,121,214	

大槻基金

科 目	金 額	科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	593,373	普通預金	563,518	三菱東京UFJ 大阪
預金利息	145			
ユース支援金	-30,000			
合 計	563,518	合 計	563,518	

国際大会支援金収支報告

収 入		支 出		摘 要
科 目	金 額	内 訳	金 額	
佐藤理事期 協力支援金	1,598,000	08-09東日本区へ送金	2,500,000	
鈴木理事期 協力支援金	1,598,500	09-10東日本区へ送金	2,500,000	
仁科理事期 協力支援金	1,579,500	10-11東日本区へ送金	2,500,000	
		10-11国際より返金	-590,000	
収入合計	4,776,000	支出合計	6,910,000	
		収支差額金	-2,134,000	

CS活動支援金

収 入		支 出		摘 要
科 目	金 額	科 目	金 額	
繰越金	4,156,586	支援金	157,500	桜栄印刷(環境ステッカー一代)
(内 前年度献金	2,563,830)		138,847	アジアNDERF(1,631X1US\$)
今年度献金	2,415,655		300,000	京都部
			250,000	大阪茨木
			50,000	京都部
			250,000	草津
			1,000,000	YMCA同盟(東北震災支援金)
収入合計	6,572,241	支出合計	2,146,347	
		収支差額繰越金	4,425,894	


FF(ファミリーファスト)支援金

収 入		支 出		摘 要
科 目	金 額	科 目	金 額	
前年度繰越金	2,416,137	支援金	664,800	RBM(国際送金)
(内 前年度献金	1,118,477)		100,000	福岡中央
今年度献金	1,027,310			
収入合計	3,443,447	支出合計	764,800	
		収支差額繰越金	2,678,647	



2011年7月13日

ワイズメンズクラブ国際協会
2010～11年度
西日本区理事 仁科 保雄 様

ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区監事 神谷尚孝 

2010～2011年度 西日本区会計 決算監査報告

2010年7月1日～2011年6月30日の西日本区会計について、2011年6月30日現在の会計監査をした結果、適正である事を確認しましたので、ここに報告致します。

監査日時：2011年7月13日（水）

監査場所：西日本区事務所

監査立会人：本年度会計 田中雅博
事務職員 北村久美子

監査の方法：提示を受けた、貸借対照表・財産債務明細書・
經常会計収支計算書・事業費収支・特別会計の諸表並
びに金融機関の残高証明書・通帳を照合。

以上

事業活動報告



時空を超えて浪漫は、 羽ばたいている

Yサ・ユース事業主任 亀浦 正行
(熊本にし)

「ユースに語り継ごう、ワイズの夢」を主題に一年間、活動させていただきました。行事が重なりいくつかの部会と、YYフォーラムに、出席できなかったことに対し、心よりお詫び申し上げます。

部会、YYフォーラムに出席するなかで、今30万部売れているというディズニー本に出てくる都市伝説に勝るとも劣らぬ、ワイズ伝説を見聞きすることがありました。

YYフォーラムの会場まで、お車に同乗させていただきました。お二人とも、父上の代からのワイズメン、そのお二人が、運転するお若いワイズメンに、自分の息子に語りかけるように接しておられます。親父と叔父貴に見守られ、ワイズメンとしてのいい意味での厳しさと、何と言っても楽しみ方を、笑顔に包まれながらの語らひのなかで、とても優しく育てられている様子が伝わってきます。お二人の想いの中には、「いずれ君がこの部を背負うんだよ、よろしくな!」とエールが送られています。

「今、自分がワイズメンとして、ここにあるのは、あの親父のお蔭です」と会合の挨拶で少し涙ぐむように披露されたワイズメン。ご自身も、お歳はお若いのですが、その活躍ぶりは中堅というよりベテランの域の方です。自分を育ててくれた、今は亡き親父さんに尊敬と感謝の気持ちを表すこのシーンは、私のみでなく、その場にいたワイズメンの皆さんの心を打つものがありました。そしてその親父さんの実のご息が、ワイズメンとなられ、ともに部の発展に寄与されています。

リーダーの若い感性を引っ張り出した、YYフォーラムをプログラムしてくれた主査さんの企画は大成功でした。私などでは思いもつかぬ、ユースの運営とそのアイデアは、学生時代の学園祭を彷彿するものでした。125年の歴史を振り返る双六ゲームでは、腹筋や腕立て伏せありで、ちょっと大変。テーマを袖だしTシャツにデザインを施し、そのTシャツを着てのファッションショーありで、大賑わいでした。

「亀さん、我が家に泊まっていいよ」元旦のしょっぱなからのYYフォーラムの当日、お言葉に甘えて、先輩事業主任のご自宅に一宿一飯を決め込みました。フォーラム終了後、ご自宅に何う前にダウンタウンで、まずは祝杯(?)、話が弾んで、深夜に及びます。ご自宅の玄関では、一応、客分としては心持ち、抜き足差し足で。ご主人さまは、かまわぬ様子で、「さあ、もう一杯やりましょう」と食卓で一献傾けることになりました。翌朝は勿論二日酔いで、ゆっくりめに目覚めます。早くから奥様が朝餉を用意されていて、恐縮した次第です。朝食ののち、お風呂とコーヒーをいただき、奥様を交えての熱い、ワイズ談義。メネットの深い理解のなかで、先輩主任はクラブ会長として、熱く働いておられます。

各YMCAでは、子供たちのキャンプ事業を運営するにあたり、野外リーダーさん達が数多くいます。殆どは高校生や大学生の無償でのボランティアさん達だそうです。年に一度、全国リーダー研修会が、一堂に集まり開催されます。ある地域のリーダーさん達は、一年後にこの全国大会をホストすることになり、大会の様子を学びに行かれました。その地域のホストチームの活動を見て、来年自分たちにできるのだろうかと不安になったそうです。一年以上、準備を仲間と気持ちを一つにして進めました。ホスピタリティを皆で考え抜きました。大会は、参加されたリーダーさんの賞賛を浴びることになりました。

このことをYYフォーラムの席で、発表してくれました。役割に応じて、それぞれのリーダーさんが、とても活き活きとパフォーマンスを交えての報告です。最後に実行委員長を努めたリーダーさんが言いました。「私は大学4年、来春、社会人となってリーダーを卒業します。これまで仲間と活動できたことをとても誇りに思います。この誇りを生涯の宝として人生を歩みます。このような機会を与えていただいた、YMCAと、今日お集まりのワイズメンの皆様にご心よりお礼を申し上げます。」その目に涙を浮かべながらの挨拶でした。亀浦の隣のワイズメンの目にも、涙が浮かんでいたのは言うまでもありません。

これら亀浦が見聞きしたのは、ほんの一部に過ぎません。各地域のYMCAやワイズメンズクラブにおいて、いくつもの心打つ感動のワイズ伝説が、毎日生み出されて

います。間違いなく、私たちの浪漫は時空を超えて、心から心へ繋がっています。

この感動の連鎖こそが、私たちワイズメンの宝なのです。

注) 区大会で事業主任としての活動の報告をいたしましたので、ここではいくつかの個人的体験とエピソードを紹介させていただきます。なお、Yサ・ユースのブログに次期も事業委員としての活動の報告を続けて参ります。画像と動画を交えて報告いたします。

<http://japan-west-ysy.cocolog-nifty.com/blog/>



2010年～2011年度 地域奉仕・環境事業報告

地域奉仕・環境事業主任 林 良廣
(京都エイブル)

今期事業主題 一歩前に踏み出そう、地域と共に
地域奉仕事業

私たちの行っている地域奉仕事業はワイズにとって非常に大事な事業です、各クラブの行っている事業が地域社会のニーズに合っているかどうかを問ひかけ、事業が地域社会の求めに応えられる奉仕の実践に心がけましよう、訴えてまいりました。地域社会にワイズとYMCAの活動を知って頂き、地域と共に一歩前に踏み出そう、そのことが、EMCにも繋がり、そしてYMCAの広がりになると思います。

この一年間各クラブを見ていて、地域奉仕事業の取り組み方にイロイロなパターンがあることを知りました。各クラブには地域奉仕・環境事業委員会があります。クラブの行う地域奉仕事業はクラブ内でどういう奉仕ができるのかをしっかりと話し合い、クラブが主体となって、行われることを望みます。もしその事業を行うのに人的に足りない場合は2クラブで行うとか、YMCAと協力して行うことも出来るでしょう。そういった時にクラブが主体になっているということが大事だと思います。ワイズメンがリードし考え方や行動を地域社会へと、良質なエネルギーを注ぎ込もう。もし資金が足りない場合は、地域奉仕事業資金援助申請を出して頂き、支援を受けて頂きたいと思います。

環境事業

環境事業に取り組むにあたって、一体どのような事をし、また出来るのかを試行錯誤してまいりました。またこれまで行われていたデータも検討しましたが、その中

から何に取り組むのかを考えた時、私たちワイズメンだけでは無く、広くワイズメン以外の方々へも、環境意識の高揚を私たち自身が発信していくプログラムに取り組んで行くこととしました。環境啓発のステッカーを作製し、ワイズメンの自家用車のリアウインドか後ろ面に磁石で貼ってもらう事で地域社会にアピールしました。

(UGP) ロールバックマラリア (RBM)

「マラリア感染予防パッケージ」1セット 800円。

今期は期の途中での案内だったので、クラブ目標は、各クラブの自主判断でお願いしました。期の途中にも関わらず多くの献金を頂き、本当に有難うございました。

地域奉仕・環境事業委員会

事業委員会は5回開催し、申請内容のチェックと内容の検討を行いました。

- ・申請クラブのCS・TOF・FFの達成率のチェック。
- ・プログラムの内容に地域社会への広がりがあるか。
- ・事業計画がきちっと立てられているか。
- ・予算内容は適正か資金運営上固定化される恐れはないか。
- ・申請金額が総事業費の50%を超えていないか。
- ・問われた時に委員会として明確に支援内容が説明できるか。

上記のような内容でチェックし、慎重に委員会で検討をいたしました。

CS資金援助申請8件のうち4件の支援を行いました。
FF資金援助申請2件のうち2件の支援を行いました。

CS資金援助実施一覧

	申請者	事業名	支援金円
1	大阪茨木クラブ	20周年記念・HIV/AIDS チャリティー・ジャズ&バレエで贈 るハロウィン	250.000
2	京都部	京都部ワイズデー(ワイズ祭り) ～地域奉仕事業の共有と感動～	350.000
3	草津クラブ	風のかたち・小児がん仲間たち の10年	250.000
4	西日本区	東日本大震災支援金	1.000.000

FF資金援助実施一覧

	申請者	事業名	支援金
1	西日本区	UGPロールバックマラリア 蚊帳 1000セット	\$8000
2	福岡中央クラブ		¥100.000

事業計画

今期はCS・TOF・FF献金の目標100%達成をお願いしてまいりました。

献金額・理事ゴール達成率及びRBMの献金額

献金内容	目標	実績	達成率
CS献金一人 1800円	2,080,000円	2,521,401円	121.2%
TOF献金一人 16\$ 1600円	2,350,000円	2,415,655円	102.8%
FF献金 一ファミリー 800円	1,176,000円	1,027,310円	87.3%
RBMマラリア予防パ ッケージ1セット 800円		548,369円	

献金額は、おおよそ目標を達成することができました。皆様の御協力に感謝いたします。



2010～2011年度EMC事業報告

EMC 事業主任 新山 兼司
(京都トップス)

事業主題: 限りなきワイズの拡がり求めて
2000名突破を目指して心一つに

今期2クラブが新しく誕生し、西日本区全体で90クラブとなりました。2010年8月29日の京都ZERO



ワイズメンズクラブのチャーターナイトは、今期のEMC事業に刺激と活力を与えて頂きました。



又、2011年5月28日には岩国みなみワイズメンズクラブが誕生し、EMC事業期末に花を添えて頂きました。

〈EMC事業状況〉

今期1631名でEMC事業がスタートしました。通年なら各部にてEMCシンポジウムの開催は、1回ですが年間



賛同を頂き、多くの部にて3回開催出来ました。第1回は、西日本区会員数の現状と現況説明。又、退会者の原因を

通して3回開催して頂く事をお願いしました。多くの部の方々に

分析し、今後の対策を練って頂きました。

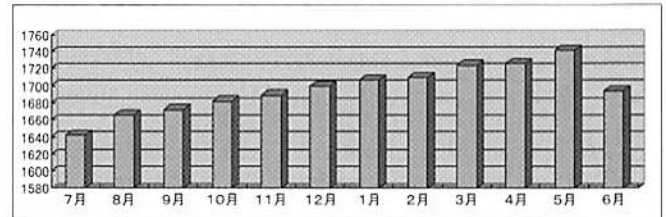


第2回目は参加者の方にグループごとに別れて頂き、会員増強をする為の工夫又、退会者防止策等の意見交換をして頂きました。第3回目は各クラブの現状を魚にたとえて、クラブの分析方法を行いその結果クラブをどのように改革していかなければならないか参加者で考え、それぞれ意見を述べて頂きました。7月スタート時から会員さんが増え、毎月右肩上がりです。2011年5月末迄上昇し、1741名まで伸びました。

しかし、2011年6月30日に例年のごとく多くの退会者が出て、最終の会員数は1694名となりました。期末の退会防止策を改めて見直す事が今後の重要な課題となりました。

2010～2011 西日本区会員の動向

2011年6月30日会員数 1694名



〈例会出席率〉

クラブの健康のバロメーターを表すひとつに出席率があります。ここ数年



の傾向を見ていますと、出席率の高いクラブと低いクラブがはっきりとしてきました。会員増強をしていく上で出席率が低いと、大きな弊害になっている事をご理解して頂きたいと思います。例会は、クラブ活動の素となるものであり、メンバーの自己研鑽の場です。工夫と努力が必要です。

〈EMC事業主査研修会〉

2010年6月27日EMC事業についての現状・事業方針・実務についての説明、各部の情報・意見交換等があり、2000推進チームとの連携を認識親睦の時を持ちました。

〈西日本区2000推進チーム小委員会〉

EMC 事業委員会は、西日本区 2000 名会員を達成させる為の企画・立案を 2000 推進チームと共働し実施しています。グループ別に EMC シンポジウム・クラブ訪問を行い、問題提起や改善策の提案と激励の実施をしています。

最後にこの 1 年間、EMC 事業主任として西日本区の皆様と広く触れ合う機会が与えられた事に感謝します。

各部部长・各部 EMC 事業主査・2000 推進チームのメンバー・各クラブ会長様には大変お世話になりありがとうございました。心より感謝申し上げます。



ファンド事業(BF・EF・JWF)報告

ファンド事業主任 杉浦 英
(奈良)

事業主題 「ファンド事業は BF・EF・JWF 献金を進めワイズの発展に貢献する事です」

“ファンドを集めて国際交流の輪(和)を広げよう”

主査主題

中部 松岡紀生(四日市) “ファンドを充実して YMCA を支える事で達成感を味わいましょう”

びわこ部 田中浩文(長浜) “ファンドでファインドワイズの発展に貢献し 友愛の心を深めよう”

京都部 小野眞一(京都東稜) “ワイズにビジョンを思いやりと共に・・・世界のワイズが輪になって・・・”

阪和部 前原久義(和歌山紀の川) “献金ゼロポイントをなくし 揃って表彰台に上がりましょう”

中西部 横井時久(大阪豊中) “ファンドの充実 ファンド活動の原点を掲げ国際理解に努めよう”

六甲部 三品ミチ子(宝塚) “私達ワイズメンは国際的メンバーの一員としての自覚を持ちながら全メンバー参加・全クラブ協力の合言葉でファンド活動を推進しましょう”

瀬戸山陰部 木村順一(姫路) “ファンドで繋ごう ワイズの輪”

西中国部 川口博正(広島) “ファンド事業の理解を深め国際交流に貢献しよう”

九州部 藤本猪智郎(阿蘇) “小さな一歩を楽しみながら・・・ファンド事業”

今期、各ファンド事業主査の皆様と共に、それぞれが熱い想いを込めた「事業主題」を掲げながら、ファンド活動を積極的に展開してまいりました。その結果各クラ

ブより使用済み切手の収集と BF 現金へのご協力そして EF・JWF 献金に多くのご支援を頂きました。以下ご報告致します。

事業報告

BF 事業 今期 BF 事業につきましては、\$22,500 (2,250,000 円) のゴールを掲げました。そして、当初より“BF ポイント未納クラブを無くし、全メンバー参加、全クラブ協力を!”とアピールしてまいりました。又、BF の使用済み切手の送付は、1 月 31 日迄(有)フクオ Y's 係へ、そして BF 現金は「1,500 円×メンバー数」を 2 月 15 日まで西日本区会計へ送金して下さいと呼びかけて来ました。その結果、使用済み切手は岡山クラブの 18.6kg を筆頭に西日本区 3 分の 1 に当たる 29 クラブより 86.05kg の収集をして頂きました。昨今の集配事情は宅配便等によるシール・スタンプが主流の中であって 86.05kg という膨大なボリュームの切手を提供して頂きました。皆様の感心の深さに感謝致します。次に、BF 現金では和歌山クラブの一人当たり 9,618 円とトップに 80 クラブよりご協力を頂き、BF 合計額として、2,396,444 円の実績をあげる事が出来ました。その結果 0 ポイントクラブは昨年の 14 クラブから 10 クラブに減少しました。又、目標対比は 106.5% の達成率となりました。次に、当初より広く呼びかけてきました BF 代表には 斎藤皓彦ワイズ(福岡中央クラブ)が応募され、見事フルグラントとして選出されました。2012 年 4 月よりアジアからアフリカ東南エリアをワイズ親善大使として訪問の予定です。西日本区からは暫くぶりの朗報です。

EF・JWF 事業 今期、EF 事業(ワイズ国際信託基金)につきましては \$5,000 (500,000 円) の目標を、そして、JWF 事業(西日本ワイズ基金)については、1,000,000 円をゴールとして設定しました。各クラブへ PR を重ねる為にも「EF・JWF の葉」を増刷すると共に“クラブチャーター、周年等記念すべき出来事や行事又は個人の慶弔事などがあった折には、EF・JWF へ献金し、「ゴールデンブック」や「奉仕帳」にその足跡を残しましょう!”とメッセージを重ねて来ました。その結果 3 名のオナロールメンバーから \$3,200 と 22 名のメンバー・クラブから 346,000 円のご協力を頂き 129.3% の達成率となりました。又、JWF 事業は第 13 回西日本区大会実行委員会(広島クラブ)を始め 30 名のメンバー、クラブから 565,000 円のご協力を頂きました。(3 月 31 日現在)

この様な実績は、各部のファンド事業主査、各クラブ会長及びクラブファンド委員長の活動によるものと深く

感謝致しております。

尚、過日ワイズ国際協会へBF資金として\$28,993.42、EF資金としてオナロールメンバー3名分\$3,200.48、オナロールクラブ3クラブ分\$372.13、ポールウィリアムアレクサンダーフェロウへ19名分\$6,397.35を送金致しました。

私は、今期西日本区ファンド事業を担当するに当り、多くのクラブが独自の企画でファンド事業を展開している事を知りました。ジャガイモ・カボチャ・ワイン・サクランボ・鮭等々、色々な多くの品物や特産品を販売しながらクラブのファンド(資金)作りをしている姿をブリテン等から拝見しました。ユニークなのは古新聞・古着・アルミ缶などを回収してのファンド作りです。そして、メールやFAXでそれぞれのクラブでの実績を報告して頂き、その積極的な活動展開に認識を新たに致しました。そうしたクラブ独自でのファンド活動が、西日本区BF・EF・JWF事業へ献金として還流され、活用されている事に深く感謝致しております。

最後に、今後とも私達ワイズメンは国際的メンバーの一員としての自覚を持ちながら、ワイズダム発展の原点であるファンドを集めて、国際交流の輪(和)を広めましょう。

一年間ご協力を頂き本当に有り難うございました。



ふれあいあってこそ ワイズ完結

交流事業主任 平野 実郎
(名古屋)

交流事業の理事ゴール、ブラザークラブ無締結クラブ解消に多くのクラブの皆様にご協力頂き、2010～2011年度では、下記の通り締結されました。

IBC

・芦屋クラブ(六甲部) - エチューカクラブ(オーストラリア)、
・大阪河内クラブ(阪和部) - オゼルキクラブ(ロシア)、
・京都プリンスクラブ(京都部) - ハワイウエストオフクラブ(USA)、
・京都パレスクラブ(京都部) - マニラダウタウンクラブ(フィリピン)

IBCトライアングル

・京都パレスクラブ(京都部) - ノースウエストクラブ(アメリカ) - ホノルル・セントラルクラブ(アメリカ)、
・京都パレスクラブ(京都部) - 東京グリーンクラブ(東

日本区) - マニラダウタウンクラブ(フィリピン)

DBC

・神戸クラブ(六甲部) - 米子クラブ(瀬戸山陰部)、
・岡山クラブ(瀬戸山陰部) - 福山クラブ(西中国部)、
名古屋東海クラブ(中部) - 御殿場クラブ(東日本区)、
・神戸学園都市クラブ(六甲部) - 東京武蔵野多摩クラブ(東日本区)、
岩国クラブ(西中国部) - 鹿児島クラブ(九州部)

DBCトライアングル

・名古屋東海クラブ(中部) - 奈良クラブ(阪和部) - 御殿場クラブ(東日本区)、
・名古屋クラブ(中部) - 和歌山紀の川クラブ(阪和部) - 熱海グローリークラブ(東日本区)

DBCヘキサゴン

京都ウエストクラブ(京都部) - 大阪西クラブ(中西部) - 神戸西クラブ(六甲部) - 熊本にしクラブ(九州部) - 広島西(西中国部) - 東京西クラブ(東日本区)

今期は、国際大会もありIBC締結が多く、また周年記念例会等で締結されたクラブが多数あり、近年稀に見る締結数でした。締結されたクラブの皆様、どうかクラブ全体で末永く人的交流を深め、楽しまれる事を交流事業委員会としてお願い申し上げます。交流はブラザークラブとの交わりだけではありません。地域・部・区・エリア・国際と広きに亘り人とふれあえる場所は多くございます。ご自身でそのような場所へ積極的に参加し楽しんでください。そうすれば違った自分を発見でき行動範囲も広がります。また今期は東日本大震災で多くの方が被災されました。ブラザークラブへの支援で助け合う姿も多く報告されワイズの友情や愛情を感じさせられました。

また一方、交流事業ではSTEP・YEEPの大事なプログラムがございます。残念ながら今期はございませんでした。対象者が年々少なくなっている状況ではありますが、近々には実現し、多くのユースが世界に羽ばたく手助けをして参ります。

再度申し上げますが、多くのワイズや他の団体等とふれあう事に楽しさが膨らんで行きます。もっと視野を広げワイズを楽しんでください。

この一年皆様のご協力で大きな成果を挙げられましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



広めよう、ワイズスピリットを胸に

広報事業主任 中原 一晃
(京都ウエスト)

広報の目的は「ワイズメンズクラブ」の名前を広く知らしめることに尽きるのですが、どの面から取り組むか、今までの歴代主任はほとんどの方が外への広報、ワイズメン以外をターゲットとすることを前面に押し出され取り組まれてきました。もちろんそれも大事な取り組みです。しかし、今年は内への広報、クラブ内に向かう広報を第一に推進しました。理事の第一方針、メンバー増強の元、広報なりの取り組みとして、いろいろな場面で、クラブ内への情報の伝達役となり、強いてはカッコリした規律ある、例会の充実を掲げました。おもしろいクラブには人も呼びやすく、いい例会を行っているクラブには、おのずと入会者も増えます。クラブの広報はもっとクラブ内の各事業委員と絡んでください。クラブ内情報の担当者としてどしどし意見を言ってください。

どうしたらおもしろいクラブになるのか、これは何がおもしろくないのか?を話し合ってください。メンバー、ゲストの意見に耳を傾け謙虚に受け止め、出来る範囲で改善してください。おもしろい例会、ためになる例会。自己研鑽と自己成長できる例会作りを行ってください。他クラブや周年例会参加による情報収集を行い、自分のクラブとの比較を行ってください。待ち受けるメンバーはいい意味で背中を見られる先輩であっていただきたいと思います。ワイズスピリットを持ち、愛と奉仕の精神に満ちたワイズメンであるように心がけたいものです。

クラブ単位の名刺・リーフレット・DVDなど「ワイズ」を宣伝できるグッズを作成し、活用を推進し多くのクラブで作成頂きました。これは、クラブを知ってもらうツールです。メンバー全員がいつも携帯できているようにしましょう。

最近では、何でも簡単にインターネットで調べられる時代です。ゲストをクラブの例会に誘ったとき、誘われた方はクラブの名前から、「ワイズ」のこと、行く例会場のこと、そこまでの交通手段など、それなりの情報を得てから来られます。最近では携帯電話で同じことが出来るようになってきました。若いメンバーを獲得したいならクラブのホームページは必須です。メンバーに対しても情報の共有ができるようにしましょう。

今年是最優秀クラブに和歌山クラブさんを称賛させていただきました。市のNPO法人わかやまイベントボードへの登録、公開例会のお知らせや数々の例会やイベントを地元「ニュース和歌山」に採用され、60周年を記念し作成された駅前の美化啓発看板設置には目に見えないメンバーの数々の準備と根回しがあったからこそその結果と判断しました。啓発看板設置は地道な活動ですが、確実に永く名の残る事業ですので、大いに見習いたいものです。彦根シャトークラブさんの「ちびっこウエルネス大会」も地域に密着され多くの市民を巻き込んだいい事業で、もっと大きく盛大になられることを期待します。

今期当初からご意見を頂いていた部と区のホームページの統一化に向けて、何とか後半に数部ではありますが修正を頂き、最上段のスクリーンショットは一貫性のあるLOGOに揃えて頂きました。ホームページをクラブで出来ない、作れないところは部単位で作成してください。部のホームページに各クラブの情報をアップしてください。

区役員というお役を頂戴し、広報主任としましては幾ばくもお役に立てなかったと反省しておりますが、多くの出会いといい仲間を知ることができました。すばらしいキャビネットにも恵まれ、団結力の強さ、準備の大切さ、ひるまない信念など、ワイズメンズクラブの基本を再認識させて頂き、すごい経験をさせて頂いた1年だったと思います。この経験をクラブに持ち帰りメンバーに還元し、いいワイズスピリットの広報を薦めたいと思っています。本当にありがとうございました。



終わってみれば、感謝。。。

メネット事業主任 坂本 千春
(大阪センテナリアル)

西日本区メネット事業主任をさせていただくことになり、国内事業の取り組みに入っておよそ2年以上の月日経ちました。事業立ち上げ当初から今日までの事を思い起こすとその時、その時々が出来事が走馬灯のように頭の中を廻ります。本当に私は国内事業を完結したんだ!と思うと夢のようです。イエス団賀川豊彦氏の献身100周年から、豊島神愛館の存在を知り、豊島神愛館を訪問。そこで暮らす乳児たちとの出会いにより支援先の方向を見出しました。そこからはもう一直線に走って来たよう



に思います。そこには常に私とともに走ってくれるメネットキャビネット、サポートしてくれるメネットさん達や9部のメネット主査の皆さんの存在が有りました。中心になって活動を支えてくださる方々のお蔭で豊島神愛館支援に賛同して下さるクラブやメン、メネットの輪が広がって行きました。チャリティーコンサートの開催をして下さったクラブや豊島神愛館を訪問して下さったクラブ、紙おむつやタオルを送って下さったメネットの皆さん、ファンドを立ち上げて下さったクラブと、国内事業への取り組みは多岐にわたって行きました。この国内事業に対するメネットキャビネットの意気込みを皆

さんが受け取ってくださったものと思っています。メネット主任の立場になって初めて9部すべての部会と合同メネット会に参加しました。各部それぞれに特色、土地の風土があり、ワイズメン・メネットにも違いがわかりました。また、たくさんの出会いがあり、本当に楽しい思いをさせていただきました。

それぞれの部において国内事業のお話をさせていただけた事が、多くの献金にもつながっていると思います。献金総額は271万円にもなりました。この中から軽自動車を購入し、90万円の支援金とともに豊島神愛館に贈りました。そして50万円を日本YMCA同盟を通じて、東日本大震災で被災した子供たちへの指定献金をさせていただきました。多くのワイズメン、メネットの理解と深い「愛の心」に支えられて完結した国内事業でした。本当にありがとうございました。感謝。



贈呈車

エルマー・クロウ賞おめでとうございます



8月5日～7日にかけて台湾・宜蘭で開催された第24回アジア地域大会において、昨年度中に傑出した働きをされた優秀な部長に贈られる国際賞に、西日本区から桑田隆明直前西中国部長(福山クラブ)が選ばれ、壇上で高田一彦アジア地域会長から表彰盾が手渡されました。

Yサ・ASF・ワンコイン献金報告

2011.6.30

		Yサ・ユース	ワンコイン			Yサ・ユース	ワンコイン
部	ク ラ ブ 名	献金額	献金額	部	ク ラ ブ 名	献金額	献金額
	金 沢	15,000			大 阪	31,500	
	名 古 屋	42,000			大 阪 土 佐 堀	33,000	
中	名 古 屋 東 海	34,500		中	大 阪 豊 中	15,000	
	名 古 屋 南 山	12,000			大 阪 千 里	3,000	
	四 日 市	21,700		西	大 阪 高 槻	33,000	
部	名 古 屋 プ ラ ザ	13,500			大 阪 セ ン テ ニ ア ル	27,000	
	名 古 屋 グ ラ ン パ ス			部	大 阪	22,500	
	津	6,000			大 阪 茨 木		
	金 沢 犀 川	10,500			大 阪 セ ン ト ラ ル	15,000	
計	9	155,200	0		大 阪 な か の し ま	36,000	
	近 江 八 幡	34,500			大 阪 ヲ ー ク セ ル	13,500	
び	彦 根	16,500		計	11	229,500	0
わ	彦 根 シ ャ ト ー				神 戸	16,500	
こ	長 浜 津	75,000		六	西 宮	28,500	
部	草 津				神 戸 西	16,500	
	滋 賀 蒲 生 野	34,500		甲	神 戸 ポ ー ト	24,000	
	大 津	9,000		部	宝 塚	27,000	
計	7	169,500	0		さ ん だ	27,000	
	京 都	49,500			神 戸 学 園 都 市	27,000	
	福 知 山				芦 屋	25,500	
	京 都 バ レ ス	96,000		計	8	165,000	0
	京 都 ウ エ ス ト	40,500		瀬	姫 路	18,000	
京	京 都 め い ぶ る			戸	岡 山	45,000	
	京 都 キ ャ ピ タ ル	52,500		山	鳥 取	5,000	
	京 都 プ リ ン ス	4,000		陰	姫 路 グ ロ ー バ ル	22,500	
都	京 都 セ ン チ ュ リ ー	16,500		部	米 子	21,000	
	京 都 ウ イ ン グ	58,500		計	5	111,500	0
	京 都 洛 中				広 島	30,000	
部	京 都 エ イ ブ ル	6,000		西	福 山	12,000	
	京 都 グ ロ ー バ ル	83,000		中	呉	13,500	
	京 都 み や び	22,500		国	東 広 島		
	京 都 ト ッ プ ス			部	岩 国	19,500	
	京 都 ト ー ビ ー	42,000			広 島 西		
	京 都 東 稜	22,500		計	6	75,000	0
	京 都 ウ ェ ル				北 九 州		
	京 都 Z E R O				福 岡 中 央	27,000	9,000
計	18	493,500	0	九	博 多 オ ー シ ャ ン		
	田 辺				長 崎	10,000	
	和 歌 山	31,500		州	熊 本	51,000	
阪	奈 良	36,000		部	熊 本 ジ ェ ー ンズ	63,500	
	大 阪 サ ウ ス	42,000			八 代 島		
和	大 阪 堺	7,000			鹿 児 分		
	大 阪 河 内	31,500			熊 本 む さ し	34,500	
部	大 阪 長 野	4,000			熊 本 み な み	37,500	
	大 阪 泉 北				宮 崎		
	和 歌 山 紀 の 川	28,500			熊 本 ひ が し	27,000	
計	9	180,500	0		阿 蘇		
					熊 本 に し	39,000	
					熊 本 ヤ ン グ		
				計	16	289,500	9,000
					有 志 献 金	263,000	
				総計	89	2,132,200	9,000

但しクラブのメンバー数は2010/08/01の国際半年報による
京都ZERO クラブのみ2011/02/01半年報

CS・TOF・FF・RBM 献金報告

2011.6.30

		CS (年賀切手換金分)		T O F		FF (現金)		R B M	
部	ク ラ ブ 名	献金額	一人平均	献金額	一人平均	献金額	一人平均	献金額	一人平均
中部	金 沢	13,500	0		0		0		0
	名 古 屋	6,720	0	44,800	1,600	11,200	400	19,100	682
	名 古 屋 東 海	49,190	0	36,800	1,600	18,400	800		0
	名 古 屋 南 山		0	6,400	800		0		0
	四 日 市	6,000	0	49,600	2,157	11,800	513		0
	名 古 屋 プ ラ ザ	13,500	0	14,400	1,600	7,200	800		0
	名 古 屋 グ ラ ン バ ス		0	24,000	1,600		0		0
	津	6,000	0	3,200	800	3,200	800	3,200	800
	金 沢 犀 川	10,500	0	11,200	1,600	5,600	800		0
計	9	105,410		190,400		57,400		22,300	
びわこ部	近 江 八 幡	34,500	0	36,800	1,600	18,400	800	4,000	174
	彦 根	16,500	0	17,600	1,354		0		0
	彦 根 シ ャ ト ー	45,000	0	48,000	1,600	24,000	800	15,000	500
	長 浜	75,000	0	80,000	1,739		0	40,000	870
	草 津		0		0		0		0
	滋 賀 蒲 生 野 津	25,500	1,159	36,800	1,673	15,000	682		0
	大 津	9,000	1,286	9,600	1,371	4,800	686	4,800	686
計	7	205,500		228,800		62,200		63,800	
京都部	京 都		0	52,800	1,600		0	80,800	2,448
	福 知 山	12,000	1,500		0		0		0
	京 都 バ レ ス	96,000	1,714	102,400	1,829	51,200	914	12,000	214
	京 都 ウ エ ス ト	40,500	1,558	43,200	1,662		0	16,000	615
	京 都 め い ぶ る	90,223	3,222	43,200	1,543		0		0
	京 都 キ ャ ピ タ ル	58,600	1,674	77,908	2,226	35,000	1,000	31,000	886
	京 都 プ リ ン ス	21,000	1,500	22,400	1,600	4,402	314		0
	京 都 セ ン チ ュ ー	16,500	1,500	17,600	1,600	8,800	800	4,000	364
	京 都 ウ イ ン グ	58,500	1,500	62,400	1,600		0		0
	京 都 洛 中	27,000	1,500	68,000	3,778	18,000	1,000		0
	京 都 エ イ ブ ル	24,000	1,500	25,600	1,600	12,800	800	12,800	800
	京 都 グ ロ ー バ ル	180,770	3,287	112,193	2,040	170,722	3,104	13,110	238
	京 都 み や び	22,500	1,731	24,000	1,846		0	2,400	185
	京 都 ト ッ プ ス	52,690	1,817	57,600	1,986	27,600	952	14,400	497
	京 都 ト ウ ー ビ ー	42,000	1,448	129,600	4,469		0		0
	京 都 東 稜	22,500	1,500	12,000	800	6,000	400		0
京 都 ウ ェ ル		0	8,000	1,000		0		0	
京 都 Z E R O	15,000	577	52,000	2,000	13,500	519		0	
計	18	779,783		910,901		348,024		186,510	
阪和部	川 辺		0	5,000	714		0		0
	和 歌 山	65,220	3,106	42,000	2,000	53,300	2,538	10,000	476
	奈 良	42,110	1,831	39,000	1,696	20,000	870		0
	大 阪 サ ウ ス	58,003	2,072	44,800	1,600		0	10,000	357
	大 阪 堺	1,000	143	7,000	1,000		0		0
	大 阪 河 内	31,500	1,500	33,600	1,600	16,800	800	10,000	476
	大 阪 長 野	5,200	743	4,000	571		0		0
	大 阪 泉 北	25,500	1,500	27,200	1,600	13,600	800	13,600	800
和 歌 山 紀 の 川	28,500	1,500	30,400	1,600	15,200	800		0	
計	9	257,033		233,000		118,900		43,600	

部	ク ラ ブ 名	CS (年賀切手換金分)		T O F		FF (現金)		R B M	
		献金額	一人平均	献金額	一人平均	献金額	一人平均	献金額	一人平均
中 西 部	大 阪	35,010	1,667	32,000	1,524		0		0
	大 阪 上 佐 堀	33,000	1,650	35,200	1,760	17,600	880	17,600	880
	大 阪 豊 中	10,800	1,080	10,000	1,000	4,000	400	4,000	400
	大 阪 千 里	3,000	500	3,000	500		0		0
	大 阪 高 槻	33,000	1,650	35,200	1,760	17,600	880		0
	大 阪 センテニアル	28,500	1,500	30,400	1,600	15,200	800	15,200	800
	大 阪 西	30,760	2,051	24,000	1,600	12,000	800		0
	大 阪 茨 木	24,000	1,500	19,700	1,231	4,000	250		0
	大 阪 センtral	15,000	1,500	15,000	1,500		0		0
大 阪 なかのしま	84,336	3,514	40,400	1,683	63,886	2,662	26,200	1,092	
大 阪 ヲェクセル	13,500	1,227	14,400	1,309	7,200	655	7,200	655	
計	11	310,906		259,300		141,486		70,200	
六 甲 部	神 戸	14,930	711	16,000	762		0		0
	西 宮	34,200	1,800	19,000	1,000	10,000	526		0
	神 戸 西	1,500	136	1,600	145	800	73		0
	神 戸 ポ ー ト	24,000	1,500	24,000	1,500	12,800	800	12,000	750
	宝 塚	31,500	1,500	21,000	1,000	8,000	381	16,800	800
	さ ん だ	27,000	1,421	28,800	1,516		0		0
	神 戸 学 園 都 市	27,000	1,500	11,600	644	5,800	322		0
芦 屋	25,500	1,500	27,200	1,600	13,600	800		0	
計	8	185,630		149,200		51,000		28,800	
瀬 戸 陰 部	姫 路	18,000	1,500	19,200	1,600	9,600	800		0
	岡 山	45,000	1,500	45,000	1,500	10,000	333		0
	鳥 取	5,500	500	5,500	500		0		0
	姫 路 グローバル	22,500	1,500	24,000	1,600	12,000	800		0
	米 子	21,000	1,615	22,400	1,723	11,200	862	11,200	862
計	5	112,000		116,100		42,800		11,200	
西 中 国 部	広 島	30,000	1,579	32,000	1,684	16,000	842		0
	福 山	10,500	1,313	11,200	1,400	5,900	738		0
	呉	13,500	1,688	4,500	563	800	100	800	100
	東 広 島	16,500	1,500	17,600	1,600	8,800	800		0
	岩 国	39,000	2,600	20,800	1,387	10,400	693	20,800	1,387
計	6	109,500		86,100		41,900		21,600	
九 州 部	北 九 州		0		0		0		0
	福 岡 中 央	27,000	1,500	28,800	1,600	14,400	800	12,000	667
	博 多 オ ー シ ャ ン	24,000	1,412		0		0		0
	長 崎	12,000	1,500	12,800	1,600	6,400	800		0
	熊 本	53,113	1,562	57,600	1,694	28,800	847	4,000	118
	熊 本 ジ ェ ー ン ズ	60,500	1,551	64,400	1,651	33,200	851		0
	八 代	12,000	1,500	12,800	1,600	6,400	800		0
	鹿 児 島		0		0		0		0
	大 分		0		0		0		0
	熊 本 む さ し	34,500	1,500	36,800	1,600	18,400	800	18,400	800
	熊 本 み な み	37,500	1,442	40,000	1,538	20,000	769	20,000	769
	宮 崎	22,500	1,500	24,000	1,600		0		0
	熊 本 ひ が し	27,000	1,421	28,800	1,516	14,400	758	14,400	758
阿 蘇		0		0		0		0	
熊 本 に し	39,780	1,473	41,600	1,541	21,600	800		0	
熊 本 ヤ ン グ		0		0		0		0	
計	16	349,893		347,600		163,600		68,800	
	京 都 部							46,759	
総計	89	2,415,655		2,521,401		1,027,310		563,569	

BF 献金報告

2011.6.30

部	クラブ名	現金献金額	切手	合計	部	クラブ名	現金献金額	切手	合計	
中 部	金 沢	15,000	600	15,600	中 西 部	大 阪	30,514		30,514	
	名 古 屋	15,000	3,000	18,000		大 阪 上 佐 城	33,000		33,000	
	名 古 屋 東 海	34,500		34,500		大 阪 豊 中	13,500	648	14,148	
	名 古 屋 南 山	12,000		12,000		大 阪 千 里	3,000		3,000	
	四 日 市	19,500	600	20,100		大 阪 高 槻	33,000		33,000	
	名 古 屋 プ ラ ザ	13,500		13,500		大 阪 セ ン テ ニ ア ル	28,500	3,600	32,100	
	名 古 屋 グ ラ ン バ ス	22,500		22,500		大 阪 西	22,500		22,500	
	津	4,000		4,000		大 阪 茨 木	11,300	624	11,924	
	金 沢 犀 川	10,500		10,500		大 阪 セ ン ト ラ ル	18,000		18,000	
計	9	146,500	4,200	150,700		大 阪 な か の し ま	72,000	3,800	75,800	
び わ こ 部	近 江 八 幡	34,500	600	35,100		大 阪 ヲ ー ク セ ル	13,500		13,500	
	彦 根	16,500		16,500	計	11	278,814	8,672	287,486	
	彦 根 シ ャ ト ー	45,000		45,000	六 甲 部	神 戸	26,500		26,500	
	長 浜	75,000		75,000		西 宮	31,350	1,255	32,605	
	草 津		600	600		神 戸 西	3,500		3,500	
	滋 賀 蒲 生 野	25,500		25,500		神 戸 ポ ー ト	24,000	780	24,780	
	大 津	9,000		9,000		宝 塚	31,500		31,500	
計	7	205,500	1,200	206,700		さ ん だ	27,000		27,000	
京 都 部	京 都	49,500		49,500		神 戸 学 園 都 市	11,000	1,500	12,500	
	福 知 山	12,000	300	12,300		芦 屋	25,500		25,500	
	京 都 パ レ ス	96,000	873	96,873	計	8	180,350	3,535	183,885	
	京 都 ウ エ ス ト	40,500		40,500	姫 路	18,000	420	18,420		
	京 都 め い ぶ る	40,500	1,200	41,700	岡 山	10,000	10,080	20,080		
	京 都 キ ャ ピ タ ル	68,000	2,802	70,802	鳥 取	5,500		5,500		
	京 都 プ リ ン ス	21,000	2,898	23,898	姫 路 グ ロ ー バ ル		822	822		
	京 都 セ ン チ ュ リ ー	16,500		16,500	米 子	21,000	1,200	22,200		
	京 都 ウ イ ン グ	58,500	1,398	59,898	計	5	54,500	12,522	67,022	
	京 都 洛 中	30,000	1,050	31,050	広 島	30,000		30,000		
	京 都 エ イ ブ ル	24,000		24,000	福 山			0		
	京 都 グ ロ ー バ ル	117,759	1,665	119,424	呉	13,500		13,500		
	京 都 み や び	22,500		22,500	東 広 島			0		
	京 都 ト ッ プ ス	42,500		42,500	岩 国	23,400		23,400		
	京 都 ト ー ビ ー	45,382		45,382	広 島 西			0		
	京 都 東 稜	22,500		22,500	計	6	66,900	0	66,900	
京 都 ウ ェ ル	12,000		12,000	九 州 部	北 九 州			0		
京 都 Z E R O	13,500		13,500		福 岡 中 央	26,160	840	27,000		
計	18	732,641	12,186		744,827	博 多 オ ー シ ャ ン			0	
阪 和 部	山 辺	10,000			10,000	長 崎			0	
	和 歌 山	201,988			201,988	熊 本	51,000		51,000	
	奈 良	36,000	5,676		41,676	熊 本 ジ ョ ー ンズ	60,500		60,500	
	大 阪 サ ウ ス	42,000	600		42,600	八 代		1,200	1,200	
	大 阪 堺	7,000			7,000	鹿 児 島			0	
	大 阪 河 内	31,500			31,500	大 分			0	
	大 阪 長 野	4,000			4,000	熊 本 む さ し	34,500		34,500	
	大 阪 泉 北	25,500			25,500	熊 本 み な み	37,500		37,500	
	和 歌 山 紀 の 川	30,400	1,800		32,200	宮 崎	22,500		22,500	
計	9	388,388	8,076		396,464	熊 本 ひ が し	27,000		27,000	
但しメンバー数は2010/08/1国際半年報による					計	阿 蘇	30,000		30,000	
京都Z E R Oクラブのみ2011/02/01半年報						熊 本 に し			0	
						熊 本 ヤ ン グ			0	
						計	16	289,160	2,040	291,200
						福 尾 さ ん よ り		1,260		
						計	89	2,342,753	53,691	2,396,444

2010-2011 E F 献金

Honor Roll Member

donation person(Club) name	Club-name of belong to	Amount	donation reason
Yasuo Nishina	Kyoto - Capital	\$1,000.00	I memorialize that I took office as RD of Japan West Region.
Kumiko Kitamura	Osaka - Nishi	\$1,000.00	I thank it with that my second daughter was able to come back to the general society.
Naotaka Kamitani	Wakayama	\$1,200.48	I thank that I finish a Japan West Region officer going between five years safely.

Honor Roll Club

A contribution person(Club) name	Club-name of belong to	Amount	contribution reason
Ashiya Club		\$120.04	The second time Honor Roll Club contribution division.
Osaka-Nakanoshima Club		\$120.04	Honor Roll Club contribution division minute.
Wakayama Club		\$132.05	Honor Roll Club contribution division minute.

Paul William Alexander Fellow

A contribution person(Club) name	Club-name of belong to	Amount	contribution reason
Yasuo Nishina	Kyoto - Capital	\$120.04	I memorialize that I took office as RD of Japan West Region.
Tetsuo Asaoka	Oomihachiman	\$120.04	I memorialize that I took office as RDE of Japan West Region.
Jyunichiro Kuwahara	Kumamoto Minami	\$120.04	I memorialize that I took office as DG of Kyushu-bu District.
Sato Sakamoto	Wakayama - Kinokawa	\$120.04	I memorialize that I took office as DG of Hanwa-bu District.
Kenji Arayama	Kyoto - Tops	\$120.04	I memorialize that I took office as RSD - E / MC.
Masayuki Kameura	Kumamoto Nishi	\$120.04	I memorialize that I took office as RSD - YMCA Service/Youth.
Seiya Suzuki	Kobe Port	\$120.04	I thank that I was able to finish RD of Japan West Region.
Norio Matsuoka	Yokkaichi	\$120.04	I memorialize that a grandchild entered an elementary school.
Masaru Sugiura	Nara	\$120.04	I memorialize that I took office as RSD - BF/EF.
Michiko Mishina	Takarazuka	\$240.09	I thank with it having been had the 28th year as Y's Men. I thank my parents.
Shigeo Suzuki	Yokkaichi	\$120.04	I memorialize that a son married.
Kazuko Imai	Osaka-Nakanoshima	\$120.04	I thank that I have 80 years old in health.
Tetsuo Iwama	Yokkaichi	\$120.04	I celebrate birth of a grandchild.
Shinichi Ono	Kyoto Tohryo	\$120.04	I memorialize that I took office as DSD - BF/EF.
Hidehiko Hayashi	Nara	\$243.84	I memorialize Nra-Tsutae Award receiving a prize.
Nara Club		\$360.14	We memorialize that the 60th anniversary of our club.
Osaka - Kawachi Club		\$180.07	We memorialize that the 35th anniversary of our club.
Kyoto - Tops Club		\$120.04	We pray for Y'sdom expansion.
Kobe Port Club		\$120.04	We pray for Y'sdom expansion.
TTL		\$6,397.35	

2010-2011JWF 献金

2011.6.30

献金者名(敬称略)	所属クラブ	献金額	献金理由
三原茂靖	滋賀蒲生野	5,000	仁科理事の船出にエール
桑原純一郎	熊本みなみ	5,000	九州部部長就任記念
坂本智	和歌山紀ノ川	5,000	阪和部部長就任記念
新山兼司	京都トップス	5,000	EMC事業主任就任記念
亀浦正行	熊本にし	5,000	Yサ・ユース事業主任就任記念
鈴木誠也	神戸ポート	20,000	理事任務終了感謝
藤井久子	神戸学園都市	10,000	ワイズダム発展を祈って
大槻信二	京都センチュリー	10,000	理事事務局長就任記念
成瀬晃三	名古屋	10,000	ワイズダム発展を祈念
神谷尚孝	和歌山	10,000	行政監事終了感謝
三浦克文	岡山	10,000	区報編集委員長就任記念
佐藤典子	熊本ジェーンズ	10,000	3年間の常任役員終了感謝
坂本千春	大阪センテニアル	5,000	メネット事業主任就任記念
松岡紀生	四日市	5,000	孫の小学校入学を記念して
山野進	広島西	10,000	ブースター賞受賞感謝
杉浦英	奈良	10,000	ファンド事業主任就任記念
三品ミチ子	宝塚	20,000	ワイズ歴28年、両親感謝
福山クラブ		10,000	岡山クラブとのDBC締結記念
奈良クラブ		30,000	創立60周年記念
大阪河内クラブ		35,000	創立35周年内外よりの祝福感謝
神谷尚孝	和歌山	100,000	5年間に渡る理事以下の役職終えることに感謝
大阪なかのしまクラブ		10,000	ワイズダム発展を祈念して
小野眞一	京都東稜	5,000	ファンド事業主査就任記念
岡山クラブ		10,000	福山クラブとのDBC締結記念
吉本貞一郎・佐藤典子	熊本・熊本ジェーンズ	50,000	結婚を記念し 感謝
京都トップスクラブ		15,000	ワイズダム発展を祈念
神戸ポートクラブ		10,000	ワイズダム発展を祈念
名古屋東海クラブ		5,000	ワイズダム発展を祈念
岩国クラブ		10,000	設立10周年を記念して
三品ミチ子	宝塚	20,000	子供たちのお祝い事を記念して
林秀彦	奈良	50,000	奈良傳賞記念
奈良昭彦	名古屋グランパス	50,000	亡き母を偲んで
岩国みなみ		30,000	クラブチャーター感謝
第13回西日本区大会実行委員会より		100,000	広島区大会余剰金
計		695,000	

部 活 動 報 告



良いコミュニケーションを

中部部長 澁谷 洋太郎
(金沢)

2010-2011 年度中部部長を終えるにあたって、任期の1年を振り返ってみたい。

部長主題を「ワイズはフェース to フェース」副題は（コミュニケーションは顔をみて声をかけて）としてスタートしました。部長として顔の見える部長でありたいと、部のメンバーの皆さんと接する機会を持つと励んだ1年でありました。

「部長だより」を毎月ホームページ上に載せて、皆さんに部長の本音と建前をちらりとお見せしましたが、どこまでくみ取っていただけたか。どの部長さんの主題より、単純でわかりやすい主題で実行・実践も上手く機能すると思っていましたが、簡単なようでなかなか難しいことであると実感いたしました。特に、中部は名古屋・四日市地区と北陸・金沢地区とは距離があり（車で3時間、電車でも3時間、バスでは4時間）顔を見せるには距離的にも、経済的にも制約があることであります。会議時間より移動時間がかかるのです。

愚痴をいっても始まりませんが、これらのハンデいをどのように解消していくかが、改めて検討課題として浮き上がってきます。

各クラブの情報を得るには、部長の公式訪問はもちろん必要ですし、情報を提供してもらう信頼が必要です。このことが一番大切なことで、特に遠隔地のクラブ情報は部長として特に配慮し大事にしなければならない事項です。良く協力して頂けたとありがたく思っております。広報主査にはことほかお世話になりました。

デジタルの時代に入り何事も連絡・報告・通知がパソコンを駆使した状況であります。アナログ時代に育った高齢化世代は必死になってデジタルに取り組んでいます。デジタル万能の中でいかにアナログ要素をいれて、メンバー間の気持ちを和ませて情報伝達が出来て、中部の事業が円滑に進行することができるように苦心しました。

中部部会は40年以上もクラブ例会に使用している、金沢ニューグランドホテルで開催いたしました。予想を超

える参加があり部長の面目が保たれました。130名の中部で130名を超える参加者に大感激でした。西日本区の皆さんと良いコミュニケーションがとれて満足でした。

良いコミュニケーションがとれてEMCが機能します。中部のメンバーが二桁の増加となりました。「元気ですか 中部!」で大野嘉宏ワイズに講演頂き良い方向へと進みました。

新山兼司 EMC 事業主任と下村明子主査の働きに感謝です。メンバー増への取り組みは1年1年の問題ではありません。継続が必要です。このEMCの「たすき」を次期部長に引き継ぎます。

誰もが驚き・ショックを受けた東日本大震災が発生しました。災害発生地である東日本区の皆さんは想像を絶することであつたらうと推察いたします。この支援がわれわれの仕事として加わってきました。しかし、この事態に対する情報伝達はワイズもYMCAも見事と言って良い手際でありました。これからもこの情報体制を維持して復旧・復興にワイズの力を注いでいきたいと思えます。

感謝! 感謝!



すばらしい事業ありがとう

びわこ部部長 江畑 明
(長浜)

皆様のおかげでびわこ部長としての務めを無事終える事ができ心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



部長主題「若い力を受け入れ新しいワイズを創造しよう」のもと、各クラブへのサポートが微力ではありましたが出来た事を喜んでおります。

特に大津クラブの若返りと新入会員の増強が実行できた事は新山 EMC 主任はじめ岡田会長、林 EMC 主査のガンバリのおかげです。その過程においてクラブの活性化とワイズメンズクラブのあり方を説かれた岡田会長のクラブに対する思いの深さに敬服いたしました。

草津クラブにおかれましては「風のかたち」青少年育成チャリティー上映会を企画、広く市民に参加を呼びかけられ、多くの参加者のもと、すばらしい地域奉仕事業となりました。この様な地域奉仕事業に始めて取組まれ実行された事によりクラブ全体が今まで以上にまとまり活性化したと北川富造会長にうれしいお言葉を頂きました。池田実行委員長はじめ草津クラブの皆様の益々の活躍を期待申し上げます。



彦根シャトークラブは「ワイズちびっこウエルネス大会」を継続事業として取組まれ、ワイズメンズクラブ奉仕事業のすばらしさを新聞報道等により広くアピールされ、その動員数は約 550 名にのぼります。今まで積み重ねた実績と共にさすがです。

また「YMCA 風の谷キャンプ場」整備事業では地元対策と整備プランニングをリードしていただき感謝いたします。今後とも宜しく願い申し上げます。

彦根クラブはびわこ部のなかでナンバーワンの高齢者クラブとなりました、しかしながら IBC 国際交流や YMCA 理解知識においてはピカイチです。すばらしいワイズメンの集まりです。早く若い会員を集い伝授をお願いいたします。



近江八幡クラブ・滋賀蒲生野クラブはびわこ部の中心クラブです。特に YMCA サポートにおいては YMCA 堀江理事長をはじめ長期にわたり主力となり支えて頂き、ありがとうございます。東日本大震災募金活動では真っ先に行動をして頂き感謝です。

今後のびわこ部と YMCA の益々の発展を念願し次期一井伸介部長にバトンを渡します。ありがとうございます。



部長職を終えて

京都部部长 阪田 民明
(京都グローバル)

広島での西日本区大会で直前部長山中中将平様から引き継いだバッチも、第 14 回の京都での西日本区大会で次期部長前 登様に無事に引き継ぐ事が出来ました。これもひとえに、各クラブの会長様をはじめ、メンバーの方々、部役員の皆様の絶大なるご支援とご協力のおかげと心より感謝しております。

部長主題に『ワイズにビジョンを、思いやりと共に』を掲げ、EMC の会員増強を中心に一年間を進めてきました。思いやりの有るクラブ、楽しい例会、5 年 10 年先のクラブビジョンの構築など、公式訪問で皆様をお願いをしてきました。その結果、京都 Z E R O クラブの誕生と各クラブご協力で、6



月末で 43 名の増員で 476 名となり、もう少して 500 名に届くところまで来ました。次期に達成されることを期待しています。

今回は日本での横浜国際大会で始まり、京都に多くの外国のメンバーの方がお見えになり、大変忙しいスタートとなりました。その中で各国のメンバーとの友情も芽生え、国際クラブの楽しさを味わい、多くのメンバーとの交流が持てました。前国際





書記長のダルマスローランド夫妻もお見えになり京都を満喫して頂きました。

各委員会事業も主査様のご協力で無事に終える事が出来ました。YMCA のサポートも予定通りに行うことが出来ました。また東日本震災の際にも街頭募金や、クラブ献金、個人献金等皆様のご協力により、たくさんの善意を届けることが出来ました。

CS 事業では今期はワイズデーを考えました。ワイズデーとは、本来、広報の一環として制定されたも



のでした。ですから、今期はその理念を原点に戻し、ワイズデーを地域社会に広報する事を考えました。各クラブのサポート施設を招待

し、各施設の物品販売や施設の紹介、ステージでの催し物や各クラブ屋台の開設も行いました。当日の参加者は、施設の方、ワイズのメンバー、市民参加者で900名を超える大盛況となりました。屋台も早くから完売が見られ、追加の仕込みに追われる状態になりました。参加施設の物品の売り上げも予想以上の売り上げで、参加していただいた方々からお褒めや感謝の言葉も多く頂きました。晴天にも恵まれ事故も無く楽しいワイズデーになりました。

EMC 事業でも、新クラブの誕生と43名の増員、そして出席率も良く、最高の一年でした。各クラブメンバー様のご協力により各献金、Yサ献金、CS 献金、TOF 献金、FF 献金、BF 献金も多く集めることが出来ました。

京都部は西日本で一番の部だと思います。その結果として今回の西日本区大会で京都パレスクラブの最優秀クラブ賞を初めとして、各クラブに沢山の賞を頂く事が出来ました。全クラブが何らかの賞を頂くことが出来たのも大変な喜びでした。この喜びを胸に部長職を終えるところでしたが、西日本区大会前日に各クラブに送った文章が、理事事務局より、部長の危機管理能力が無いとのご指摘を受け、達成感も満足感も無くすことになったのは残念でした。自己満足の世界では有りますが、今期が無事に終わったことに感謝しております。ありがとうございました。



新しい阪和部に期待して

阪和部部長 坂本 智
(和歌山紀の川)

準備期間を加えて2年間の部長の役を終えることができました。この大きな役をはたして務まるのだろうかという不安の中でスタートしましたが、阪和部各クラブの皆さま、そして西日本区役員のすべての皆さまに支えられ、なんとか次期の阪和部につなぐ事ができました。感謝申し上げます。

EMC 委員長会議

新しい期がスタートしてまず最初に行ったことは、新山兼司 EMC 事業主任のもとに阪和部各クラブ会長、EMC 委員長が7月3日、南Yで集まり EMC 委員長会議をもちました。阪和部の今一番問題となっている、高齢化と会員増強への危機感を阪和部全体が取り組まなければならないことを共有しました。第一回に加え年3回の委員長会を開いたお蔭でなんとか7名の新入会員を確保しました。

阪和部会

9月23日、和歌山紀の川クラブのホストで、今魔線の危機に立ち、それを守ろうとして急増する地域ボランティアの会を学ぼうと、討論会形式の部会をもちました。他ボランティアの交流と対話。形式はワイズダムをもっと開放的で自由な発想で



おこないたいとの思いでしたが、一部理解を得られないという問題もありましたが、盛会に終わったことを感謝申し上げます。

国際大会

熱海について日本での2回目の国際大会が横浜で開かれ、IBC・DBCの交流と共に、各クラブ、メネット活動にも大きな活性化になりました。IBCは、大阪河内クラブのロシアオゼルキクラブとのIBC締結を35周年記念例会と共に盛大に開か



れました。

交流事業

上記の大阪河内クラブもインターネットという新媒体から、ロシアオゼルククラブとの交流を展開して、国際大会でIBC締結を果しました。

奈良クラブは、60周年記念例会において、御殿場クラブ、名古屋東海クラブとのトライアングルDBC締結をしました。和歌山紀の川クラブは、京都西日本区大会で、名古屋クラブ、熱海グロリークラブとのトライアングルDBC締結をしました。

阪和部新年合同例会

1月10日、当日は、西日本区役員会の2日目で、仁科保雄理事始め多くの西日本区役員も参加いただき、大阪河内クラブのホストで新年のスタートをきりました。新山事業主任、高瀬稔彦2000推進委員長のもとで和歌山クラブ、大阪河内クラブ、奈良クラブ、長野クラブの新入会のワイズが壇上で紹介され、盛会に終わりました。

Yサ・ユース事業

今期奈良YMCAがホストした全国リーダー研修会のために、阪和部各クラブが協力してジャンパー購入を支援しました。3月のYYフォーラムでは、リーダーたちが成長したすばらしい報告をして、ワイズとリーダーのお互いの関係と役割を再確認しました。



西日本区大会

京都での閉会式で、松本三枝子次期部長にピンバッチの交換をして、やっと大きな責任から解放された喜びと、このような大きな役をいただき、多くの学びの機会を与えていただいたことに本当に感謝いたします。

阪和部では、特に和歌山クラブが広報事業、ファンド事業で最優秀賞をいただきましたが、阪和部それぞれのクラブがまた一年間ワイズダムを遂行し、楽しみながら、新しい年度に取り組んでいただきたいと期待しています。ありがとうございました。

その他

阪和部評議会年4回開催、阪和部報3号発行、公式訪問年2回



拡がりのある活動を求めて

中西部部長 松浦 孝次
(大阪センテナリアル)

部長主題 「豊かに、そして拡がりのあるワイズライフを！」

「豊かで拡がりのある、すばらしいワイズライフを求めて」1年間活動してまいりました。

各クラブそれぞれに、家風、社風と同じく「クラブ風」といえるものがあり、各クラブの歴史、メンバーの構成、メンバーの思い、地域YMCAとの関係、奉仕活動の内容——などが複合されて、クラブそれぞれに個性をもち、よい味わいを醸し出しています。「ワイズメンズクラブの綱領・目的」は国際憲法第2条に示されているとおり普遍のものでありますが、「いろいろなクラブがある、違いがあること」はワイズの魅力であります。

部長職を担って1年。部内各クラブとのおつきあい、また西日本区各部の状況を勉強させていただき、「多様なクラブがあること、その良さ」を実感しました。今後とも活かしていきたいものです。

中西部広報活動のひとつとして、毎月初めに「中西部マンスリーレター」を発行、部長メッセージと各クラブの例会案内（違いが分かる情報）を発信してきました。

また、入江広報主査の尽力で、クラブリーフレット共通版を作成し、そこに各クラブ独自の情報を盛り込む手段が実現しました。

年度初め「足腰の強いクラブ」、「組織として揺るぎがないクラブ」を創っていかうと呼びかけました。各クラブとも新人の加入に努力いただき、若い世代（40歳未満）の入会など明るい情報が続きました。ただし、ご逝去も含めて退会があり、全体ではわずかな増員にとどまりました。引きつづき部をあげてメンバー増強に努力してまいらねばなりません。

大阪ヴェクセルクラブが、昨年1月「みなとYMCA」の閉鎖決定に伴い、同YMCAの支援とウェルネス利用者と協働する活動が閉ざされることになり、クラブ存続について模索。3月に「活動拠点を変更して新たな出発をする」ことを決定しました。意欲的な例会やシテイウォーキングなど素晴らしい活動を行っているクラブです。今後、新しい拠点（大阪Yおよび梅田北）での活動が期待されます。

本年度の中西部活動総括

(1) 中西部会 (ホストクラブ:大阪センテニアル)

2010年9月18日(土)大阪YMCAで、中川善博(大阪YMCA会長・日本YMCA同盟理事長)、末岡祥弘大阪YMCA総主事、仁科保雄区理事ほかのゲストをお迎えし、160人のワイズメン・メネットが出席。気象予報士の片平敦様(関西TVお天気キャスター)から、「暮らしに直結している天気」と題して、地球環境問題、また天気予報をどう聞くかについて解説いただきました。その後、懇親会で交流を図りました。

(2) 中西部合同メネットアワー (ホストクラブ:大阪センテニアルクラブ)

(1)と同日開催。岡本剛介ワイズ(同クラブ)による「ジュエリーの話」と、中西部在籍の坂本千春メネット主任による「豊島神愛館支援プロジェクト」のアピール。なお、区メネット事業は、支援目標を見事に達成されました。

(3) EMC戦略会議の開催

2010年8月2日(月)新山兼司EMC事業主任を迎えて、「第1回EMC戦略会議」を開催し、各クラブ会長、EMC担当を中心に35名が出席。会員増強への作戦=戦略・戦術・心意気を討議しました。今後ともEMCは実践あるのみ、結果を出さねばなりません。

(4) 第13回西日本区大会 & 第69回ワイズメンズクラブ横浜国際大会への参加

2010年8月5日(木)8日(日)横浜市で開催された国際大会に多くの中西部ワイズメン、メネットが出席。両大会中、後も含めて、DBC、IBCが持たれ、交流の実をあげました。私も、大会後に京都鴨川畔で開いた大阪センテニアルクラブのIBC交流会に参加し、交流を楽しみました。

(5) スペシャルオリンピックス日本・夏季ナショナルゲームへのボランティア支援

2010年11月5日から3日間、大阪府下で開催された“SO”は、全国各地から知的障害をもつアスリート約1千名が集まり、12の会場で各種の競技が行なわれたもので、部全体のボランティア活動として取り組み、延べ110人が参加しました。勉強になりました。

(6) 大阪YMCAチャリティランに参加

秋色濃い11月23日(祝)大阪城公園で開催。茨木クラブ・塚会長が実行委員長、ワイズメン多数がランナーとして、また運営にかかわりました。多額の協賛金を大阪YMCAに提供することができました。

(7) 中西部合同新年会の開催 (ホスト 大阪高槻クラブ)

本年1月15日(木)高槻市内で開催、多くのゲストを迎え新春を祝いました。大阪府立芥川高校・和太鼓部の演奏は、若者のエネルギーが満ちていて新春の門出にふさわしいものでした。

(8) YYフォーラムの開催

1月29日(土)北村Yサ主査の差配のもと、講師に西嶋雄己氏(リーダーOB、コーディネート専門会社を営む)、亀浦正行Yサ・ユース事業主任を迎えて、「ワイズとYMCAのコラボレーション=協働のありよう」を討議しました。ワイズメン、YMCAスタッフ約50人が出席。今回YMCAスタッフが多く参加してくれたことは嬉しいことでした。

(9) 東日本大震災復興支援

本年3月11日に発生し、未曾有の被害を惹起した「東日本大震災」の被災者救援のための街頭募金活動を、多くのワイズメンが各地でYMCAスタッフや学生と共に行いました。

大阪土佐堀クラブは、チャーター60周年を記念して、5月21日(土)午後“東日本大震災復興支援トーク&コンサート”を大阪YMCA会館で開催。チケットの売り上げと、同クラブからの拠出金を合わせて705千円強を大震災復興支援金として、大阪YMCAに託しました。60周年祝賀行事に代えて、いま一番求められていることを実施されました。

(10) 第14回西日本区大会に出席

中西部の多くのワイズメン、メネットが京都に集結し、ワイズダムの世界を満喫しました。とくに、今井利子ワイズ(大阪なかのしまクラブ)が「最優秀ワイズメン」、大阪高槻クラブが「Yサ・ユース事業・最優秀賞」の栄誉を受けられたのは、素晴らしいことでした。



各クラブの活動・ご支援 に感謝

六甲部部长 安行 英文
(さんだ)

先ずもって、至らぬ部長として六甲部各ワイズメンやメネットの皆様にご迷惑とご心配をおかけしたにも関わらず、ご厚情とご支援をいただきましたことに大変感謝を申し上げます。

また、去る3月11日の東北大震災のあの未曾有の大惨

事での、われわれの生活を一変させるような悲痛な出来事があり、各クラブにおかれましては、迅速な独自の活動をなされ、多くの被災地の方々に勇気と生きる力を与えていただいたことに改めて敬意を表する次第であります。

ご承知のように部として活動のプログラムは定款上なく、国際とか西日本区やYMCA 同盟、各クラブ間の連絡調整が主たる役目であり、その他は各クラブ独自の自主性をもとに素晴らしい活動を支えるのが仕事と心得ております。1年間の会長様方のご活躍にも厚く御礼申し上げます。

さて、年当初のこの思いは、年度末のこの時期にもう一度思い返して見ると、果たしてその思いと実績はどうかと改めて見つめる必要があろう。

就任当時掲げた標語「ワイズの心、ワイズの種をまこう」を挙げ、「自己の充足だけでなく他人に尽くすことによって、初めて自己の幸せを手に入れることが出来る」とするワイズメンズクラブのYMCA サービスは、人間社会の関係を円滑にする普遍的な心理に基づいているのではないか、このことからワイズが継続してすべき活動は、人間社会の質を改善するために払うべき努力が基礎であり、そこから様々な奉仕活動が行われるべきである」という意味の挨拶をしました。そういう意味で半期を過ぎ、各クラブの活動は充実したものであったのでしょうか。各クラブの絶え間ない努力とエネルギーと友情と寛容さにただただ感謝する思いでいっぱいです。

そのような中で、やはり各クラブの抱えている事情は同じものもあり、特にEMCでは各クラブの実情は様々ですが、どのクラブも出席率の向上に努力されていることが伺えます。とくにファンド事業にも「準例会」扱いとしてメーキャップの効果を引き出して、出席率のアップにつながりされています。やはりメーキャップ制度の徹底周知を行い、出席率向上を目指すことも一案であると考えさせられました。しかし、例会の意義はただ出席率だけではなく、そこに各人の相互の心を磨き奉仕の心を授かり、一步例会の外へ出るとそこに実践の場があり、ワイズの活動がそこにあるのです。例会の重視もここから伺えることです。後期ではやはり例会のあり方など考えてみる必要があるようです。

さて、増員では会員の高齢化も各クラブで起こっています。このことから青年会員の入会で、クラブに活力を与え、新しいエネルギーを補填し、クラブに活力を与え、新しい思考で、活性化と躍進を促進させることも課題と

して挙げられよう。リーダー OBOG の入会も視野に入れ、オリエンテーションなどを計画することが必要であるように考えさせられました。

また、クラブ活動では宝塚クラブの宝塚市民クリスマス「キャロルを歌う夕べ」が12月17日宝塚ベガホールで行われ、105人の出演者と20名のスタッフ（宝塚ワイズと西宮YMCA リーダー）で300名超お客様を迎え第6回目を開催され、国際協力募金へ寄付されました。様々な団体の参加でもう宝塚の冬の風物詩になった観があります。今後も素晴らしいクリスマスの夜を地域の人たちと一緒に過ごしてほしいものです。

例会の有り様も様々で、どのクラブも特色があり素晴らしい例会をなさっています。神戸ポートクラブでは例会後、毎回歌を歌って例会を終わることになっています。これも例会をより楽しく、また親睦と友情を深め、さらなるワイズ運動の活力となり、次の例会への思いを馳せるいいプログラムであると、一考すべき事案であるように思えました。さらに前年度の実績を評価され西日本区大会で各種の表彰を受けられた神戸ポートクラブの活動は特筆すべきであろう。特に理事特別賞の「折りづるラン」などはその後の横浜国際大会へとその崇高な思いを継続されたことは感激でもありました。さらに同盟から「青少年奉仕賞」も授与されたメンやメネットも沢山おられ、長く奉仕をされてこられた方々がいらっしゃったことにまたまた感激でしたし、YMCA 会員継続永年賞も授与された方もおられ、本当にYMCA と一体となった活動に改めて表裏一体の関係で、多くのキーマンが互いに支え合って歩んできた歴史を感じざるを得ませんでした。

また西宮クラブのブリテンなどは季節の折に触れる俳句を載せられているのは、心和む一寸した休憩の場がブリテンに新鮮味を与えていたことが印象的でした。

IBC・DBCでは仁科保雄理事が掲げておられた締結を早くもその果実が実ったことで後期への弾みとしたい思いで望んでいます。2010年9月11日の六甲部会において、神戸クラブと米子クラブのDBCが締結されましたし、8月の横浜国際大会では、芦屋クラブとオーストラリアエチューカクラブのIBCが締結され、まさしく大きなクラブの飛躍にまたなったことと思ひ、今後の益々のクラブの発展と交流に期待している次第です。

また学園都市クラブと東京武蔵多摩クラブのDBC締結が5月22日に名古屋で行われました。今年度は理事の目標にもありましたIBCとDBCの充実が挙げられます。

広報に関しても、宝塚クラブに続き芦屋クラブも近々

クラブ紹介およびワイズ説明のリーフレットを作成し、ワイズダム広報の一翼を担っていただいている状況です。

また、ホームページに関しては、尚一層の更新努力を要するよう各クラブにお願ひし、PCに精通されている方々の協力を得て、よりワイズのPRに努めていただくことが確認されています。

交流と広報にも挙げられるものでしょうが、宝塚クラブがスカイブ例会を模索して試みられています。今後のプログラムの検証とより精度の高い例会内容、および色々な可能性を秘めているように思いますので、是非とも今後の成果を見守りたいと思います。

以上、年度を通して各クラブのワイズ活動へのご奉仕に感謝申し上げます。ご報告といたします。



感謝の一年 「この素晴しきワイズライフ」

瀬戸山陰部部長 菅原 好紀
(姫路)

会員増強を第一に、5年後、10年後を考えると、今動かなければと考へました。新山兼司 EMC 事業主任の方針に則り、3回の EMC 集会を、鳥取クラブ山根幹雄事業主査にお願ひし開催することが出来たこと。瀬戸山陰部部会の講演。

京都パレスクラブ大野嘉宏元西日本区理事を講師に迎え、「元気出して行こう。瀬戸山陰部」と



EMC シンポジウム

題した EMC の話だったこと。EMC に掛ける気持ちを皆様に伝えるのに終始した1年でした。

会員が危機感を持って動いた結果、部全体で10名の増加です。「無理のない活動、無理しても欲誘」「団塊の世代を狙え」と積極的に動いて頂いた山根主査ありがと



YYY フォーラム

うございました。年3回の EMC の結果、会員の意識が変わって来ているのを感じます。これも EMC 集会で貴重な意見を頂いた新山事業主任、高瀬稔彦 2000 推進チーム委員長、部会で講演を快く引き受けて頂いた大野嘉宏メンのお陰です。その上、大野メンは講師の謝礼をそのままメネット国内プロジェクトに献金くださいました。

豊島神愛館が瀬戸山陰部の地元でもあることから、部を挙げての活動として各クラブとも絶大なるご支援、ご協力を頂きました。本当に感謝です。特に岡山クラブは最も近いクラブとして数々のお働きありがとうございました。



メネット事業主査を引き受けて頂いた山本聡子さん、ありがとう。昨年度、福島庸二直前部長がメネット主査



DBC 締結式

も兼任だったので、私も兼任でと思っていましたが、西日本区事務局より兼任ではなく、メネット事業主査を選んで下さいと強い要望がありました。姫路クラブで再考の結果、山本聡子さんが引き受けてくださり、メネット事業主査の務めを果たされました。その結果としてメネット事業最優秀賞を姫路クラブが受賞致しましたが、瀬戸山陰部皆様への受賞と思っています。

米子クラブと神戸クラブ。岡山クラブと福山クラブの DBC 締結も、米子クラブ福永君二交流事業主査のご努力の結果です。これにより瀬戸山陰部は無締結クラブがなくなりました。神戸クラブとは六甲部部会で、福山クラブとは西中国部部会で、ともに締結相手クラブの部会での締結式でした。

この瀬戸山陰部の奥床しさと理事ゴール DBC 無締結クラブ解消を9月中に終了したのが、交流事業最優秀賞受賞の理由だったかも？

YYY フォーラムは鳥取クラブ富吉巳喜男 Y サ・ユース事業主査の企画により、山陰海岸ジオパークの清掃を行

いました。足腰に記憶が残るキツイ作業でした。亀浦正行 Yサ・ユース事業主任は熊本より遠路、山陰まで来て下さりありがとうございました。

広報事業は瀬戸山陰部としてのホームページが整いつつあります。

ファンド事業の BF 使用済み切手の実績で岡山クラブが西日本区第一位です。

各クラブの活動を簡単に報告します。

姫路クラブ 姫路 YMCA 太子キャンプ場の整備に今年も励みました。

岡山クラブ 岡山 YMCA と共に地域に奉仕、豊島神愛館訪問（タオル寄贈）

鳥取クラブ 他ボランティア団体と協力しつつ種々の活動支援、新しい集会所の整備に奮闘中。

姫路グローバルクラブ 姫路 YMCA 日本語学校にカンボジア青年 2 名を留学させ、支援。

米子クラブ YMCA 米子医療専門学校を支援しつつ、地域に根ざした活動を展開、断酒会、DV 被害者支援。

天地万物すべてに感謝しつつ奉仕しようとの一年間歩んで参りました。何とか重責が果たせたのも、各クラブ会長、各事業主査を始めとする会員の皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

感謝の心が満ちてくれば、皆様のお陰だ。何かお返し出来ないものかと奉仕に結びついて行くと思います。

今後も感謝と奉仕の精神で一日一日過ごしたいと思えます。



感謝の一年

西中国部部长 桑田 隆明
(福山)

2010-2011 年度部長主題を「共に未来を創ろう！ ひとりひとりを大切に」と掲げました。今期は、皆さんの熱い思いに支えられ、力強い後押しもあり、それぞれの活動が活かされてきました。今期、西中国部は、6クラブ72名のスタートでしたが、2011年6月末現在の会員数は89名となりました。部長公式訪問では、合同例会や各クラブの例会で入会式に立ち会うことができ、皆さんが会員増強に深い関心を示してくださっていることに感謝しています。

西中国部の主な事業として、9月に開催した第9回西中

国部部会は、小さなクラブがホストした西中国部部会でしたが、多くの仲間に支えられユースや留学生たちにも関わっていただき、また、福山 YMCA のスタッフ職員・講師・リーダーの協力をいただき開催できたことに感謝しています。

11月に開催した第8回西中国部主催のチャリティゴルフ大会は、岩国クラブに準備をしていただき、10組38名参加の盛大なコンペになり、大会ではチャリティ献金として10万3千円が「広島いのちの電話」に贈呈されました。

11月に開催された第16回広島 YMCA チャリティーランは、64チーム320名のランナーが思考を凝らしたコスチュームで参加し、全員笑顔の一日でした。毎年恒例のワイズの皆さんで作っていただく「ワイズの豚汁」も今年は鍋の底をつく人気でひとりひとりのランナーを元気付けた「ワイズの豚汁」でした。また、チャリティーラン終了後は、平和への願いが込められた千羽鶴、第13回西日本区大会に届けられた千羽鶴、全国のメネットの皆さんが心を込めて折ってくださった千羽鶴、西日本区大会から国際大会へとつないだ千羽鶴、9万羽を平和公園の「原爆の子の像」へ捧げました。

12月に開催されました広島 YMCA クリスマス（西中国部協賛）は、「平和と音楽と手づくり」をテーマに企画され、広島クラブのメネットのみなさん手づくり料理と YMCA の職員や留学生たちの参加した国際的な交わりが出来たクリスマスでした。

新しい年を迎え、1月の西中国部新年合同例会では、西中国部の会員ひとりひとりの心をつなげて「共に未来を創る」熱い思いを確認しました。また、岩国クラブ10周年記念例会をみんなで祝い、設立総会を迎える岩国みなみクラブのみなさんを激励することを確認した新年合同例会となりました。

2月の岩国クラブ創立10周年記念例会及び岩国みなみクラブ設立総会は、全国の仲間と共に周年例会と設立総会を祝い、感動を共有した一日となりました。

3月に入り発生した、あの未曾有の東日本大震災のことは忘れることができません。被災されている方々には心からのお見舞いを申し上げ、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りしています。私たちは、何から取り組めばよいかわかりませんでした。でも、いまこそみんなが心をひとつにして、取り組まなければならないという思いで最初に取り組んだことが、ワイズも YMCA も、また、YMCA に関わる幼児から大人までが心をつなげた街頭

募金活動でした。そして、日が経つにつれて、被害の大きさにふれ、このことは一時的な取り組みではなく、長期的な取り組みと継続的な活動の重要性を確認し、共に行動することを確認しました。



4月、西日本区YMCA サービス・ユース事業亀浦正行事業主任ご夫妻のご出席をいただき、西中国部YYフォーラムが開催されました。ワイズにはYMCAが、YMCAにはワイズのことが共に理解しあえる有意義な時間を共に過ごすことが出来たことに感謝しています。第二部は、手作りのオードブルをはじめ、岩国みなみクラブのチャーターメンバーであるピアノ奏者中村佳子さんのピアノ演奏もあり、YYらしい雰囲気でのYYフォーラムの一日となりました。

5月、多数のご来賓、そして、西日本区をあげての祝福を受け、待望久しい岩国みなみクラブの加盟認証伝達式が行われましたことは慶賀にたえません。



結びになりましたが、今期は各クラブ会長をはじめ、会員皆様のワイズへの熱い思いに支えられ、それぞれの活動の場で活かされてきたことに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



九州部LT委員会で次世代へワイズ魂を引き継ぎます

九州部部长 桑原 純一郎
(熊本みなみ)

九州部部长を終えて感じていることは、私自身のリーダーシップ・トレーニングになったということです。まだ会長経験も無く、個人的には精神的にも経済的にも余裕がない状態で、クラブの事情で仕方なく引き受けた役目でした。しかし、この1年半に亘り、九州部の為に何が出来るかと考え続けてきたことが、私自身に3度目の「ワイズスイッチ」を入れてくれましたし、リーダーシップについて学ぶ機会を与えていただきましたことに心から感謝申し上げます。

「今期はEMCに始まりEMCに終わる」と、主題もEMCにこだわり、微力ながら何か一つでも新しい方向性を打ち出そうと「九州部ビジョン委員会の設置」を提案しました。これは米村謙一EMC主査と、EMCについて何度も話し合う中から生まれてきたアイデアです。西日本区リーダーシップ開発委員会に倣って九州部リーダーシップ・トレーニング委員会(LT委員会)を設置し、各クラブのフレッシュワイズメンから人材を選び、LT委員会を組織して研修会を企画・運営します。次期会長や次期部役員・クラブ役員を対象に研修の場を持ち、ワイズメンズクラブの基本を経験豊富な先輩ワイズメンから学びつつ、夢や理想を語り合う場を提供していきたいと思います。LT委員会が次世代の牽引役となって会員拡大はもちろん、ユースリーダーやYMCAとの協働、クラブ間の交流など、他の事業促進にも繋がる人材育成を目指します。私も次期からリーダーシップ・トレーニング委員長として活動することになりますが、九州部の発展に繋がる突破口になるよう努力して参ります。

交流事業として、九州部内の交流促進を目指して「他クラブキャンペーン」を提案させていただきましたが、参加者がなくクラブ間交流促進の難しさを思い知らされました。交流と親睦を他クラブに広げられればもっと楽しいワイズライフになると思います。できれば会長が率先してメンバーを誘って他クラブを訪問されてはいかがでしょうか。今後も九州部内交流促進を交流事業の一環として継続されるように提案します。

守田富男広報主査に yspal-9 をリニューアルしていただきました。九州部内での情報共有手段として活用してい

きたいと思います。また、全会員の登録を目指して、特に新入会員の登録などを次期以降の広報委員長などに伝えていただきたいと思います。徐々に活用されるようになってきましたが、更に各クラブからの情報発信を促進していきます。九州部ホームページは今度こそ完成させようと努力いたしましたが、またもやできませんでした。再検討する必要があると思います。

活動方針に「主査との協働」を掲げていましたが、EMC 以外は時間的な制約もあって十分なコミュニケーションが取れず、中途半端な活動になってしまいました。又、会長の皆様へのお知らせやお願いもメールだけで行ったために、情報伝達が十分にできなかったことが悔やまれます。結果として主査・会長や主任の皆様にもご迷惑をおかけしたかもしれないと思われれます。部長として十分な働きが出来なかったことをお詫びいたします。

今期の明るいニュースは5組のカップルが誕生したことです。吉本貞一郎 & 佐藤典子元理事同士のご結婚の他

に、次世代を担う4名のワイズメンが結婚されました。この若きワイズメンに何を引き継がせることができるか、それが今後のテーマです。厳しい社会環境の中で、まずはメンバー減少を食い止めて増加を図らなければなりません。そのためには今何をすべきか、どう変わるべきか、これは九州部のワイズメン全員に課せられた試練ではないでしょうか。2022年までに九州部500名を目指すための土台作りと、「誰にもできる九州部部長」のための環境整備が少しでもできたなら幸いです。

最後に、第3回評議会でも推薦できなかった次々期部長を、土壇場で引き受けていただいた熊本クラブの福島貴志ワイズに心より感謝申し上げます。何につけても不甲斐ない部長でしたが、ご協力いただいた九州部役員の皆様や、評議会や部会を一緒に開催していただき、部長活動費という経済的な支援までしていただいた熊本みなみクラブの皆様心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

常置・特別委員会報告



ワイズは学びの場

ワイズリーダーシップ開発委員会
井之上 温代 (滋賀蒲生野)

ワイズリーダーシップ開発委員会(以下LD=Leadership Development)が、大きな2度の研修会を無事終えることが出来ましたこと、皆様のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。私がこの大役を拝命して4年間、研修の場所もアクセスのいい新大阪に定着出来、少しずつ改善を重ね、形が出来たように思います。長い4年間でしたが本当に暖かくご指導ご支援いただきましたこと重ねて感謝申し上げます。

研修会は、準備万端・備えあれば憂いなしという言葉通り、次期役員の皆様方が研修に備えて早くからご準備いただくことで中身が充実していい研修になります。1月度の役員研修会から3月の会長主査研修会までの間に、各部においても研修準備をしていただくことによって3月の研修会の成果も変わってくるように思います。

◆2011年1月9日～10日 於:ホテルクライトン新大阪
次期役員100%の出席、現役員を入れて総勢70名の参

加で開催。仁科保雄理事による現況報告、浅岡徹夫次期理事の方針発表をはじめ様々なレクチャー、グループ討論、また親睦を深めるフレンドシップアワー等、次期に向けての熱い時間が持たれました。この研修では次期理事方針をより理解していただくための時間を例年より多く取りました。



◆2011年3月12日～13日 於:チサンホテル新大阪

同会場での開催は今回で4回目になり、アクセスの良さと参加者も多く定着。出席は、部によって多少の差はありますが次期会長(出席率84%前年83%)次期主査(出席率87%前年78%)と高いレベルになっています。新旧の役員合わせて延べ180数名の参加があり、タイトなス

ケジュールの中、次期への学びをしっかりと持っていたできました。特にこの時の研修は、東日本大震災の翌日にあたり、同日開催予定の東日本区の研修会が中止になるという状況の中で開催されました。東日本区のため西日本区が「頑張らなくては」という熱い願い祈りで研修期間中、参加者の気持ちが一体になったように感じました。

研修の後、歴史あるクラブの会長様からとても嬉しいメールをいただきました。「“学び”の原点である Leadership Training のひと時を持つことができました。初めての試みです。」クラブ単位でこのような研修をしていただくことこそ LD 委員会の目標です。西日本区の研修会で学んだことをクラブに持ち帰って、メンバー間で再認識をすることが未来の世代に繋がります。研修という少し固いイメージにとらわれず、親睦・交流もまた研修の一部ぐらいに捉えて要は、「場」をセッティングすることから始まるのではないのでしょうか。

次期は、藤井久子委員長（神戸学園都市）にバトンタッチします。若い前向きな LD 委員会のメンバーと一緒にワイズメンズクラブのため思う存分のご活躍をお願いします。



YYY の架け橋を

YYL 委員 平野 実郎
(名古屋)

今期交流事業主任と掛け持ちで委員を務めて参りましたが、多くのユースが活発に活動をしている状況を、皆様になかなか情報提供することが無く、一年が過ぎてしまいました。各地域ではワイズとユース・YMCA との協働事業が増えて行き、力を必要とされています。年齢的なギャップはありますが、今求められていること、そして多くの現場に立ち活動していただきますようお願い申し上げます。

ユースから見たワイズは、格好良い大人の集団と認識されていると聞いたことがあります。殆どユースとの交わりが無くとも、各部で YYY フォーラムが開催されています。積極的に参加し、現代のユースを理解できる絶好の場でもあり、どうぞご参加ください。

また、今年3月に起きた東日本大震災での支援は長い歳月を必要とされます。街頭募金など多くの現場を求められます、YMCA 同盟と協力して情報を発信してまいり

ます。

一年間ありがとうございました。今後も YYL からご協力をお願いすることも多々ございますが、皆様からの情報やご提案がございましたら YYL にお知らせください。



物品サービス委員会廃止

物品サービス委員長

成瀬 晃三 (名古屋)

今期西日本区では物品サービス委員会は必要か検証しその結果によって必要な処置をすることが私に与えられた仕事であるととらえた。物品サービスで目に見えるのは世界大会や日本区大会において販売されている場面のみであります。これも斎藤工芸 村杉克己氏（東京北クラブ）が販売の任に当たってくださっています。またその他で入用なときは西日本区ホームページから注文表をダウンロードし、FAX にて注文することが出来ます。入会セットやバッジ紛失時の新規購入や区大会の出店依頼等必要なことは全て西日本区事務所で、対処していただいています。東日本区にはこのような委員会も無いことが判明しました。

これらのことから物品サービス委員会は廃止すべきと判断しました。但し何か問題が発生したとき、第一には日本区事務所で対処していただき、対処できないときには西日本区事務局が対応していただくこととしました。第3回役員会に上程し審議頂き承認を得、西日本区定款細則から「物品サービス委員会」の項を抹消することが承認されました。

以上のことは表向きでありこの期間即ち私が次次期西日本区理事候補の期間は西日本区のことを学ぶ時でありました。そう心得て役員会、研修会、国際大会、西日本区大会、部会、チャーターナイト、周年例会の全てと言いたいのですが、土佐堀クラブの周年例会だけは疲れからか体調優れず欠席しました。京都パレスクラブ40周年記念例会が中止となったのは残念でした。この1年間多くの方と会えワイズメンズクラブの醍醐味を満喫いたしました。また最近 Family Letter を読んでみると国際大会のスモーキングルームで雑談した方が AP-India Area の Isaac Palathinkal 氏であることに気が付き驚いています。

仁科理事及びそのキャビネットの皆様にごこのような機会を与えていただき感謝します。



『猛省! 皆様に陳謝いたします』

西日本区 2000 推進チーム委員長
高瀬 稔彦 (岩国みなみ)

西日本区 2000 推進チームが皆様から期待されている本来の働きができていないことをあらためてお詫び致します。

昨年 100 名を超える退会者がでて、今期は新山兼司 EMC 事業主任のお働きと西日本区の皆様のご支援があったて 50 人もの増強ができました。しかし、わたしたち西日本区 2000 推進チームの本来の働きは、ほんとうに支援を必要とされているクラブに寄り添って、絶えず支援の手を差し伸べることであるはずなのですが、委員長の怠慢で、皆様の期待に応えきれないことを痛切に反省しております。

データで定量的に比較するのはよくないと思いますが、2006 年 7 月半年報の各クラブの会員数と、2011 年のそれとを比較したときに会員数が増えているクラブは、西日本区 90 クラブの中で、33 クラブしかありません。

33 クラブ (2006 年以降に加盟認証された新クラブ 6 クラブ含む) 積算で 250 人を超える会員が増えているものの、西日本区全体では 30 名しか増えていないのです。この現実と向き合う時、私たちに期待される働きは、57 クラブの皆様へ寄り添って、どうしたらよいかを一緒になって考え、行動していかないといけないと思います。それは部会に伺って、シュプレヒコールを挙げているのでは達成できませんし、10 人足らずの委員会では成しえませんが、これからは地域性やクラブの事情にあわせた個別レクチャーが必要です。みなさんと一緒になって考えていきたいと思ひます。どうか、これからもよろしくお願ひいたします。



JWF 管理委員会

JWF 管理委員会委員長
臼井 征郎 (長浜)

JWF 管理委員会規則第 2 条に「本委員会は、西日本ワイズ基金 (Japan West Y's men's Fund) の管理及び運用を図る事で、ワイズ発展のためのプロジェクトに資することを目的とする」と有ります。今期は、期初に横浜で開催された国際大会において、万一収支不足が発生した場合に、如何に対応するのかとの論議の中で、この JWF に言及される声もお聞きはしておりましたが、幸いにも黒字決算であったことから、JWF 管理委員会において、検討を始めるまでも至りませんでした。

この基金の運用については、先にも書きました様に「ワイズ発展のためのプロジェクト…」また、規則第 7 条には、「基金の運用は、基本財産を減らすことなく運用益をもたらしものでなければならない」とあります。この JWF へ記念すべき事があった場合にご献金頂いています皆様の思いの中にも、これら規則各条項の定めがあるからこそ、ご献金頂いている事を、私達管理委員会の一同は重く受け止めて行かなければなりません。

一部に、使わなければ何の意味も無いとの声もお聞きすることがあります。しかし、この基金は、使いかけると、あれよあれよの間に無くなってしまおうでしょう。それだけに有効に、そして慎重にとの姿勢を常に持ち続けなければなりません。

いずれにせよこの基金はメンバーの思いが詰まった基金です。今期後半に体調を壊し、次期は新たな方に委員長を務めて頂くこととなりましたが、これらメンバーの思いを大切に、管理、運用して頂けるものと思ひます。

最後に在任 3 年間、皆様のご支援に感謝申し上げます。

JWF 献金	金額
前年度繰越金	28,333,602
当年度献金収入	695,000
受取利息	94,292
残高証明手数料	▲ 1,680
差引 10-11 期期末残高	¥29,121,214



クリスチャニティー特別委員会 活動報告

クリスチャニティー特別委員会委員長
田上 正 (熊本むさし)

クリスチャニティー特別委員会委員

西村 清、長井 潤、江見淑子、卜田啓三、永井康雅、
三浦克文、大田厚三郎、藤井久子

キリスト教精神・「イエス・キリストの教え」が活動の基盤になっているワイズメンズクラブではありますが、その精神を説明し理解を求めることの困難さについて、クリスチャニティー特別委員会はよく理解しています。2004年、初代委員長長井潤ワイズ、初代チャプレン西村清ワイズを中心として7名の委員で特別委員会は発足しました。

以来、「キリスト教」理解の指針を示し、研修会でのキリスト教理解講座を担当し、「キリスト教」がワイズメンズクラブメンバーにとって嫌なものではなく、身近な存在として受け入れていただけるように努力を重ねてきたつもりです。

これらの働きの中で中心となってこられた長井潤ワイズが2010年6月6日に召天されました。改めて長井ワイズの存在の大きさと働きを感じています。私が2代目委員長となり、長井ワイズの指導をうけながら、作成にとりかかったアンケートをまとめ考察を加えた報告書がようやく完成し、浅岡徹夫理事期の区報第1号に掲載させていただきました。仁科保雄理事期の役員・各クラブ会長の皆様にはご協力いただき感謝しています。この報告書を今後の活動に活かしていきたいと思ひます。

2011年5月より、東京に転勤し東京都民となりました。仕事の関係で東京のワイズメンズクラブの例会には未だ出席できていません。近々出席するように努力いたします。熊本むさしクラブの会員、即ち西日本区のメンバーは継続しますので、今後ともご支援をお願いいたします。

追：アンケート報告で見落としのあった間違い部分をお示ししますので、皆様にお直しいただくようお願いいたします。①共著の「永井康雄」を「永井康雅」に、②賛美歌を讃美歌に、③「キリスト教」が「キリスト教」になっているので訂正。



西日本区活動の記録を 残す

区報編集委員長 三浦 克文
(岡山)

第14期理事仁科保雄主題「飛翔たとうワイズスピリットを胸に一泰然自若の精神で一」のもとにスタートした14期は、8月猛暑の中、第69回国際大会が横浜で開催されたことも含め、任期期間中、理事スタッフはもとより、事業主任、部長を中心に活発な活動が展開されました。

ゴールが見えてきた時、予想だにしなかった東日本大震災・大津波、原発事故が発生し、いつ復興へ向かって希望の光が見えてくるか分からない状況になりました。京都第14回西日本区大会のテーマも「おーきに！陽気に！京都から・・・」から「おおきな！元気を！京都から！」に変えられ、西日本から東日本へ元気を送ろうと支援活動が開始されました。

14期はこのような大きな動きの中で、区報編集会では何を掲載すべきか、今まで以上に考えさせられました。各活動記録に加え、ワイズ関係のニュースや嬉しい出来事や皆様にお知らせしたい事項を出来るだけ掲載してきたつもりです。編集委員は取材も兼ねて各大会や式典にも参加させていただいてきました。しかし、まだまだ情報を集め、掲載しなければならないことも多々有ったかと思ひます。今後、西日本区として東日本震災関連活動は支援金も含め、記録は的確に残したいと思ひます。いずれにしろ、区報編集委員だけでは情報収集に限界があります。ワイズメン各位のご協力を切にお願いいたします。

第14期の区報編集にご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

区報とは異なりますが、国際協会は国際情報誌としてワイズメンズワールド(YMW)を発行しています。原則として年4回発行されていますが、この日本語版が東西両区の翻訳委員のご奉仕により、2回は日本語に翻訳編集・印刷して会員皆様に配布し、2回は4頁を翻訳・編集し東西両区にデータで送付しています。2011-2013年期の2年間は西日本区が担当し、翻訳編集委員長野村秋博ワイズ(名古屋東海)が責任者としてご奉仕していただいています。お働きに感謝申し上げます。



伝わりましたか? 皆様へ!

理事事務局長 大槻 信二
(京都センチュリー)

各クラブ会長(メール委員)様へ、区の動き、お願い事をご連絡し続けた1年、メールを配信する度に、「またか!」と思われるだろう事を感じながらも、理事・主任・役員の皆様の事務方として、各クラブメンバーの皆様との、情報のパイプ役としての務めと自らに言い聞かせ発信を続けさせて頂いた1年間でした。

特に、3月11日の東日本大震災の発生後は、YMCA同盟、東日本区の皆様と逐次ご連絡をとりながら、震災情報を流させて頂きました。その中で、前述の不安を打ち消す様に、西日本区の各部・各クラブ・各メンバーの皆様が、逸早く反応して頂き、行動を起こして頂いた事は、事の重大さはあるものの、情報を伝達することの重要性を再確認させて頂きました。

準備段階から数えると約3年半、本番であったこの1年が、とても短く感じられました。期が始まるとすぐに、横浜での国

際大会があり、世界の仲間達との交流の輪が広がりました。それが済むと9部の各部会が開催され、幸いにも総ての部会に参加することが出来ました。部会キャラバンと称してキャビネット、主任の皆様と御一緒に訪問させて頂いた夫々の部会が、素晴らしい思い出となりました。その後は、前述の東日本大震災の発生、区大会の準備・開催と、あっと言う間の1年でした。

事務局としての総括として振り返った時、坂本哲朗ワイズ、山田隆之ワイズという2名の理事事務局員との役割分担と、区事務所の北村久美子さんとの一体となったお仕事が出来た事、又、その力を生かして、国際本部、アジア地域、東日本区とのコミュニケーションを取らせて頂きました。理事、キャビネット、主任、が一体感を持って、進むことが出来た今期でした。

区報1号で「お聞かせ下さい。伝えます。皆様へ!」

2号では、「それでも伝えます。皆様へ!」と、題しましたが、情報を少しでもメンバーの皆様と共有することが出来たのであれば、幸いです。

最後に、皆様のご支援、お導きに感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



2010～2011年度 第3回役員会

第14回西日本区大会報告 『おーきな！元気を！京都から！』



西日本区大会って どうやってやるの？

実行委員長を引き受けたのはいいのだが…さあ～何から手をつければよいのやら???

2009年6月25日(木)まずは、仁科保雄理事宅にて準備検討会です。参加メンバーは、仁科保雄理事、柳慎司書記、田中雅博会計、山田隆之事務局員、瀬本純夫次期会長、山田英樹次々期会長と私の7名です。メイン会場は？ 例会場であるウエスティン都ホテル京都。役員会・準備役員会・年次代議員会は？徒歩で移動できる京都市国際交流会館。実行委員会の構成は？ 総務委員会・渉外委員会・大会運営委員会・広報委員会・記録委員会・エクスカージョン委員会・財務委員会。それとオブザーバーとして西日本区キャビネットに加わっていただきました。よし、これで行く！

2009年7月17日(金) 第1回実行委員会の開催です。ここでは、委員会の大まかな役割と委員長の選出です。協力クラブには、担当委員会を決めて後日委員長を選出していただきました。総務委員長 竹田博和、渉外委員長 山口雅也、記録委員長 近藤勉、大会運営委員長 金原弘明、財務委員長 笠井俊明、エクスカージョン委員長 大山裕己、広報委員長 香山章治、この7名に各々の役割を担っていただきました。このあと様々な、協議・検討を行なっていくのですが、物事を決めていく指針となるもの、是か非かの判断基準となるべきものを決めました。それは、西日本区全体に関する経費には、皆様から頂く区大会支援金を、大会へ参加される方に関する経費は登録費を当てるということです。これは当然のことなのですが、なかなか区大会支援金では賄いきれないところが多々あることが、予算を組んでいく上でわかりはじめたのです。広報活動や大会の案内、年次代議員会、役員会、準備役員会は、西日本区全体、会員全てに関わることなのですが、一人500円、総額で100万円足らずの予算しかないのです。この支出の区別を実行委員会の是非としたのです。

初っ端の広報は、広島での西日本区大会です。自費での参加を呼びかけました。多くのメンバーが自ら手を上げ広報することを楽しみに、区大会を自分のことと考え参加してくれました。そのあとに続く9つの部会も同様に多くのメンバーがアピールに参加してくれました。登録費を決めるとき、固定費

第14回西日本区大会実行委員長 石倉 尚 (京都キャピタル)

を按分し予備費80万円をみて800名参加で、登録費16,000円で収支がいきると判断し、皆様にご案内をしたのです。年が明け大会イメージもほぼ出来上がり、詳細なシナリオを作る段階で、未曾有の被害をもたらした東日本大震災が東北関東地方を襲いました。大会テーマ、プログラムの変更とあわただしく時間が過ぎていきました。その影響なのか、3月31日時点での登録数は175名。早めの申込を事あるごとに渉外委員会よりいただいた結果、申込締切日の4月30日にデッドラインの800名をやっと突破したのです。これで赤字は免れたとホット胸をなでおろしました。その後、追加キャンセルを経て949名の登録を頂くことができ、西日本区大会を無事に終えることができました。

『おーきな！元気を！京都から！』

西日本区大会をどうやってやるのか…みんなで話をし、考え行動し多くの方のご協力をいただき、この京都の地にこれほど多くのワイズメンにお集まりいただけたこと。このことこそ我々がワイズメンであること、我々が元気でいられる源ではないでしょうか。しかし、これで終わりではありません来年も再来年もこの西日本区大会は開催され続けるのです。実行委員会だけでは到底成しえないことばかりです。西日本区大会を成功へ導くのは我々一人ひとりにかかっているのです。これからも西日本区大会成功へ向けて 心ひとつに！今こそワイズ！です。

第14回 西日本区大会収支報告書(案)

収入の部		支出の部		余剰金
摘要	金額	摘要	金額	余剰金額
① 区大会支援金 1837名×500	918,500	登録案内・チラシ・ホームページ作成	334,885	
		広報活動費	139,942	
		委員会会議費他	320,529	
		小計	795,356	123,144
② 区大会登録費 949名 郵送料30,000円含	15,061,500	各社・大会プログラム・パンフレット	1,495,047	
		ホテル支払	11,546,293	
		小計	13,041,340	2,020,160
③ 前日夕食会登録費 96名	953,000	パンフレット他	106,945	
		ホテル支払	809,496	
		小計	916,441	36,559
④ 11日昼食弁当申込費 173名	258,000	昼食弁当代支払い	258,000	0
⑤ ネットアワー登録費 149名	370,000	記念品・お菓子	75,600	
		ホテル(昼食)支払	256,330	
		小計	331,936	38,064
収入合計	17,561,000	支出・余剰金合計	15,343,073	2,217,927

余剰金処分(案)

余剰金項目	摘要	金額
① 区大会支援金・余剰金	第15回西日本区大会・支援金へ	123,144
② 区大会登録費・余剰金	第15回西日本区大会・登録費へ	2,020,160
③ 前日夕食会・余剰金	第15回西日本区大会・前日夕食会へ	36,559
④ 昼食弁当・余剰金		0
⑤ ネットアワー・余剰金	第15回西日本区大会・ネットアワーへ	38,064
合計		2,217,927

以上の通り、ご報告申し上げます。尚、決算明細並びに余剰金処分案につきましては、本年11月開催の西日本区第2回役員会にご提示し、ご審議・承認を受けるものと致します。

第14回西日本区大会 実行委員長 石倉 尚
実行委員会財務委員長 笠井 俊明



司会の橋本真一さん、五十嵐由紀さん



万感の思いで入場する3役



区大会に先立ち開催された年次代議員会



仁科保雄理事挨拶

第14回西日本区大会 おーきな! 元気を! 京都から!



両壁に掲揚されたクラブバナー



京都キャピタルクラブ
山田英樹会長 歓迎の挨拶



約950名のご参加を頂いた大会会場



柳慎司書記による
代議員会報告



多くの賛同を頂いたメネット事業
車のキーと目録を石原正彦神愛館館長へ贈呈



谷本秀康ワイズの
同時通訳奉仕



メネットさんの力は素晴らしい

ご来賓あいさつ



山田啓二京都府知事 門川大作京都市長、島田茂YMCA同盟総主事、藤井寛敏国際会長、高田一彦アジア地域会長、松田俊彦東日本区理事
代理 太田 昇副知事



懇親会で口上を述べる仁科理事



BURAIによる懇親会アトラクション



厳粛に行われた森田恵三元理事立会いによる理事引き継ぎ式



兼松豊牧師による聖日礼拝説教



次期理事浅岡徹夫 就任誓約



西日本区の舵取りは固い握手で
仁科保雄理事から浅岡徹夫次期理事へ



浅岡徹夫次期理事の
力強い就任メッセージ

理事引継式司会
鈴木誠也直前理事



ご苦労さまでした
次期よろしく



新旧事業主任さん



新旧部長さん



新旧書記・会計さん



神谷尚孝監事さん
長年のご奉仕ありがとうございました



新旧理事事務局長さん



仁科保雄理事から第14期役員、ワイズの皆様に感謝の言葉



第15回西日本区大会は長浜へ全員集合

2010～2011年度西日本区表彰

理事表彰

最優秀クラブ賞	京都パレス
最優秀ワイズメン賞	今井利子(大阪なかのしま)
プリテン最優秀賞	宝塚
プリテン優秀賞	熊本にし

Yサ・ユース事業表彰

最優秀賞	大阪高槻
優秀賞	神戸学園都市、大阪河内
献金優秀賞	京都みやび
献金100%達成賞	

金沢、名古屋、名古屋東海、名古屋南山、名古屋グランパス、金沢犀川、近江八幡、長浜、滋賀蒲生野、京都、京都パレス、京都ウエスト、京都キャピタル、京都センチュリー、京都ウイング、京都グローバル、京都みやび、京都東稜、和歌山、奈良、大阪サウス、大阪河内、和歌山紀の川、大阪土佐堀、大阪高槻、大阪西、大阪セントラル、大阪なかのしま、西宮、神戸西、神戸ポート、神戸学園都市、芦屋、姫路、岡山、姫路グローバル、米子、広島、福山、呉、福岡中央、熊本、熊本ジェーンズ、熊本むさし

ユースコンボケーション協力賞 神戸学園都市

地域奉仕・環境事業表彰

最優秀賞	京都グローバル
優秀賞	京都パレス、大阪茨木、彦根シャトー、草津
環境省エネ優秀賞	京都ウエスト

献金優秀賞

大阪なかのしま、京都めいぶる、和歌山、岩国、名古屋東海、大阪サウス、大阪西、奈良、京都トップス、西宮

献金個人優秀賞

吉本幸男(京都めいぶる)、江見俣子(大阪なかのしま)、神谷尚孝(和歌山)、杉浦眞喜子(大阪なかのしま)、今井利子(大阪なかのしま)、本田康子(大阪なかのしま)、岡本尚男(京都キャピタル)、平嶋千香子(和歌山)、小八木晴代(大阪なかのしま)、小池 晃(大阪サウス)、寺岡博也(大阪サウス)

TOF献金 優秀クラブ賞

京都トゥービー、京都洛中、京都キャピタル、四日市、京都ZERO、和歌山、京都トップス、京都みやび、京都パレス、大阪土佐堀、大阪高槻

FF献金 優秀クラブ賞

大阪なかのしま、和歌山、奈良、京都キャピタル、京都洛中、京都トップス、京都パレス、大阪土佐堀、大阪高槻、米子

FF献金個人優秀賞

神谷尚孝(和歌山)、今井利子(大阪なかのしま)、松下広子(大阪なかのしま)、生雲文枝(大阪なかのしま)、國友朝子(大阪なかのしま)、岡本尚男(京都キャピタル)、藤井弥生(大阪なかのしま)

CS・TOF・FF献金トリプル達成賞

名古屋東海、名古屋プラザ、金沢犀川、近江八幡、彦根シャトー、京都パレス、京都キャピタル、京都センチュリー、京都洛中、京都エイブル、京都トップス、和歌山、奈良、大阪河内、和歌山紀の川、大阪土佐堀、大阪高槻、大阪センテニアル、大阪西、大阪なかのしま、芦屋、姫路、姫路グローバル、米子、東広島、福岡中央、熊本、熊本ジェーンズ、八代、熊本むさし

EMC事業

最優秀賞 京都パレス

優秀賞 四日市、京都トップス、京都みやび

EMC-E優秀賞 京都トゥービー、岩国

EMC優秀ワイズメン賞

奥谷彰宏(京都みやび)、若松芳弘(四日市)、山中秀男(大阪センテニアル)、黒河浄二(岩国)、江畑明(長浜)

ノンドロップ賞

名古屋南山、津、名古屋グランパス、金沢犀川、彦根、京都、福知山、京都キャピタル、京都洛中、京都グローバル、田辺、和歌山、大阪堺、大阪長野、大阪千里、大阪高槻、大阪センテニアル、大阪セントラル、神戸、西宮、姫路、岡山、広島、福山、東広島、長崎

青年会員獲得賞

名古屋、四日市、名古屋グランパス、滋賀蒲生野、京都パレス、京都キャピタル、京都プリンス、京都グローバル、京都みやび、京都トップス、京都トゥービー、京都東陵、京都ウエル、京都ZERO、和歌山、奈良、大阪長野、大阪土佐堀、大阪センテニアル、岩国、鹿児島、熊本ひがし、阿蘇、熊本ヤング

出席率 90%達成賞

金沢、名古屋東海、名古屋南山、名古屋グランパス、金沢犀川、近江八幡、京都、福知山、京都ウエスト、京都キャピタル、京都プリンス、京都センチュリー、京都ウイング、京都グローバル、京都みやび、京都トップス、京都トゥービー、

京都東陵、和歌山、大阪千里、大阪なかのしま、西宮、芦屋、姫路

ファンド事業

最優秀賞 和歌山

BF優秀賞

大阪なかのしま、京都グローバル、京都キャピタル、奈良、大阪セントラル、京都みやび、京都パレス、京都洛中、西宮

BFポイント100%達成賞

京都グローバル、和歌山、京都パレス、大阪なかのしま、長浜、京都キャピタル、熊本、熊本ジェーンズ、京都ウイング、京都、京都トゥービー、奈良、彦根シャトー、大阪サウス、京都ウエスト、近江八幡、西宮、名古屋東海、大阪土佐堀、大阪高槻、和歌山紀の川、宝塚、大阪河内、京都洛中、大阪センテニアル、熊本むさし、金沢、名古屋南山、名古屋プラザ、金沢犀川、京都プリンス、芦屋、京都エイブル、京都みやび、京都センチュリー、京都東陵、姫路、京都ウエル、大阪泉北、名古屋グランパス、大阪西、米子、神戸ポート、福岡中央、大阪セントラル、岩国、宮崎、広島、呉、福知山

交流事業

最優秀賞 瀬戸山陰部

優秀賞(BC締結クラブ)

芦屋、大阪河内、京都パレス、神戸、米子、岡山、福山、名古屋東海、奈良、和歌山紀の川、名古屋、神戸学園都市、京都プリンス、京都ウエスト、大阪西、神戸西、熊本にし、広島西、岩国、鹿児島

優秀賞(国際大会最多登録クラブ) 京都キャピタル

広報事業

最優秀賞 和歌山

優秀賞(プレスリリース優秀賞) 彦根シャトー

優秀賞(パンフレット優秀賞) 中部

優秀賞(広報アイデア優秀賞) 京都

優秀賞(ホームページ優秀賞) 京都センチュリー

メネット事業

最優秀メネット賞 姫路クラブ メネット

国内事業メネット賞 和歌山紀ノ川クラブメネット会

国内事業支援特別賞 大阪なかのしま

※メネット国内事業に対しコンサートを開催して頂く等、格段のご支援を頂きました。メネットではありませんが、特別賞を贈り、感謝の意を表することと致しました。

奈良傳賞受賞おめでとうございます

林 秀彦ワイズメン(奈良)

生年月日:1937年4月30日

クラブ入会:1959年10月

ワイズ歴:会長 1972、1982

YMCA 歴:奈良 YMCA 理事 1985～2000

常議委員会議長 1992

奈良 YMCA 理事長 2001～2011

奈良傳賞を受賞して

この度、第14回西日本区大会に於いて、思ってもいませんでした奈良傳賞を賜り、大変光栄であり、感激、感謝でございます。私は学生 YMCA 出身ですが、奈良には YMCA がありませんでした。大学を卒業した頃に、60年の歩みを続けて来ました奈良クラブで、13年前に初めて奈良傳賞を受賞されました故佐藤正雄氏に「奈良に YMCA を造る活動に参加しないか?」とお誘いを受けて、ワイズメンズクラブに入会させていただきました。入会後は一番若いメンバーとして先輩の言われるまま、YMCA の設立に関わらせて頂きました。奈良 YMCA が設立できたのも、大阪 YMCA の奈良傳先生のご支援を頂いたからできたのです。しかし若い頃は、仕事が忙しいことから、土曜日の例会には出席できないことも多く、私が例会に出られない時には、ワイズと YMCA が大好きなメネットがいつもサポートしてくれていました。お陰で今日があると思っています。メネットには感謝しております。



この50年あまりの間には、色々な経験をさせて頂きました。私はワイズメンではクラブ会長を2回させて頂き、そして毎年、日本区大会にはメン、メネット、コメット4名でよく参加して参りました。思い出は、数々ありますが、1976年(昭和51年)片岡健彦理事(東京クラブ)の時に第31回日本区大会をホストいたしました。奈良には大きい会場がない為、4つの旅館に分散しての懇親会になりましたが、皆さんからは良い大会であったとお褒めの言葉を頂きました。しかし大会の後が大変で、退会する会員が続出し、クラブは大きく沈み込みましたが、徐々に新しいメンバーが加わり、体力も回復して参りました。2008年(平成20年)神谷尚孝理事(和歌山クラブ)の時には第11回西日本区大会をホストさせて頂きました。今回も大きなホールがない為に、懇親会は分散しなければなりませんでした。フレッシュなメンバーが中心となり、YMCA のリーダー達も手伝ってくれて、頑張りました。お陰で皆様から大変良い西日本区大会であったとお褒めを頂きました。

その他、奈良クラブは色々な事業を手掛けて参りました。この度の受賞は、60年の歴史のある奈良クラブはよくやっていると誉めて頂き、賞を頂いたもので、私が代表で受け取ったものと思っております。後期高齢者になって初めて、ワイズや YMCA で活動させて頂いて良かったと思う毎日を過ぎて居ります。これからも、奈良クラブ、阪和部、西日本区のワイズ発展の為に微力を尽くしたいと思っておりますので、皆様方の更なる、ご指導をお願い致します。

「最優秀ワイズメン賞」を頂いて

今井利子(大阪なかのしま)

'10'11年西日本区大会で最優秀ワイズメン賞の表彰を頂きました。仁科保雄西日本区理事に感謝とお礼を申し上げます。

何故、私になど?と心に問いかけつつ、この1年、また35年目になるY's生活を振り返ってみましたが、他に「えらいなー」「頭が下がるなー」と思う方が何人かいらっしゃる中で、私など、と自問自答しているこの頃です。

足繁く「準会員よ。」と言われながら、他クラブを訪問して、愛とは? 奉仕とは? Y'sとは? などなど随分学ばせて頂き、交流も広がりました。また、ファンドや献金も毎年のように積み重ねて参りましたが、1年の中には嬉しいこと、悲しいこと、忘れられないことなどに数限りなく出会います。それらを忘れない為に、毎日貯金箱にチャリンの音を響かせています。何年か前に貯金箱を集め、メンバーに持ち帰ってもらったこともありました。入れると“ありがとう”というもの。鍵のかかるもの。マニヤックなもの。オーソドックスなものなど。日本区から折りたたみのものを配られたこともありましたが、それらが色々と並べられ、大阪なかのしまクラブではリストコインとして日常茶飯事になっています。

大阪なかのしまクラブでは毎年のように地域奉仕・環境事業の献金の部ではたくさんのメンバーが表彰されていますが、杉浦眞喜子会員が事業主任をされた事も重



なって、毎年提唱されたことが引き継がれ、努力しています。今回の表彰も決して私一人のものではないと感謝しています。

決まったことへの努力は続けたいと思っていますが、今までと同じペースでは活動が難しくなっています。出席しているだけで、健在と受け止めていただければ、私としては最高です。

正しいことを信じてやるしかない。正しいと信じられることを行動に移す。それを誰かが見ていてくれる。この度の名誉ある表彰に繋がったのでしょうか?

表彰式直後、多くの方から祝福をいただきました。身に余ることでしたが、中でもご夫妻で「納得 納得」と手を取って下さった大先輩、ほんとに嬉しい思い出の一時となりました。これからは大好きなY'sメンとしてYMCA会員として励みます。変らぬご指導とお支えを西日本区の皆様をお願いいたします。本当にありがとうございました。

最優秀クラブ賞を受賞して



山本一博(京都パレス)

1年間本当にお世話になりました。まず最初に西日本区および京都部役員の皆様、各クラブの皆様へ御礼を申し上げます。

さて、当クラブはこの1年間、「会員数100名」という目標に向かって邁進して参りました。結果的に目標には届いておりませんが、何とか70名まで達することが出来ました。このメンバー増強に向けた努力を評価して頂いた事が、今回の受賞に繋がったのではないかと存じます。

この様に申しますと新入会員の人数だけに目が行きがちですが、実はこの会員増強キャンペーンはクラブの活性化に大きく寄与する事になりました。新しい仲間が増え、一緒に活動することの楽しさが大きく増えました。クラブに一体感が生まれ、各委員会を取り組んで貰った活動のレベルが一段と向上したと思います。人数が目的ではありませんが、人数が増えることは確実にクラブが目指す活動を活性化し、質的向上に繋がるものだと

確信するところであります。

また、今年度は40周年記念例会の中止/延期という大きな意思決定もありました。メンバー各位に膨大な時間と労力を投入して貰い、既に準備が整っている中での決断でした。この意志決定は私にとって容易なものではありませんでした。しかしながら、一所懸命に奔走してくれていたメンバー各位が背中を押してくれました。自分達のことは構わないから、正しいと思う選択をしよう。これを決めたミーティングは決して忘れられない出来事になりました。

その後、クラブからの義援金拠出を決めるとともに、メンバーからも募金を募りました。そこでも大きな金額を届けてくれるメンバーがいました。そして、パレスからの義援金に上乘せて届けてくれと言われました。もちろん震災に対する支援のお気持ちがあつてのことですが、私には周年事業中止/延期により意気消沈しそうなクラブへの支援だと感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

仁科保雄理事はこうした動きを逐次見て下さっていたのだと思います。この1年、私はパレスの仲間へ何度も何度も感動させられました。この素晴らしいメンバーが一致団結してくれたからこそ、最後に「最優秀クラブ賞」という大きな褒美を頂くことが出来たのだと思います。パレスは私の誇りです。本当にありがとうございました。

西日本区第3回役員会議事録

開催日 2011年4月9日(土)10日(日)

会場 ホテルクライトン新大阪

出席者

< 常任役員 >

理事 仁科保雄、直前理事 鈴木誠也、

次期理事 浅岡徹夫、書記 柳 慎司、会計 田中雅博

< 部長 >

中部 渋谷洋太郎、京都部 阪田民明、阪和部 坂本 智、

中西部 松浦孝次、六甲部 安行英文、

瀬戸山陰部 菅原好紀、西中国部 桑田隆明、

九州部 桑原純一郎

< 事業主任 >

Yサ・ユース 亀浦正行、地域奉仕・環境 林 良廣、

EMC 新山兼司、ファンド 杉浦 英、交流 平野実郎、

広報 中原一晃、メネット 坂本千春

< 監事 >

行政 佐藤典子、財政 神谷尚孝

< 常置・専任委員長 >

YLD 井之上温代、情報 石津雅人、区報 三浦克文、

組織・安全 柴田善朗、物品 成瀬晃三、

クリスチャニティー 田上正、2000 推進チーム長 高瀬稔彦、

< YMCA 同盟連絡主事 > 光永尚生

< 理事事務局 >

事務局長 大槻信二、事務局員 山田隆之、坂本哲朗

< 区事務所職員 > 北村久美子

< 陪席 > 直前会計杉本隆人

2011-2012 年度第1回準備役員会構成メンバー等

定刻に開会

議長 理事 仁科保雄

司会 書記 柳 慎司

開会宣言 理事 仁科保雄

ワイズソング 一同

開会の祈り クリスチャニティー委員長 田上 正

挨拶・報告

1、理事仁科保雄挨拶と、仙台 YMCA 訪問時の東日本大震災報告。

2、挨拶 直前理事鈴木誠也、次期理事浅岡徹夫

3、光永尚生西日本区連絡主事より、東日本大震災の被災地の現状と支援活動報告

出席者確認 書記 柳慎司

※部長・事業主任・各委員会報告の詳細は、役員会資料に記載されており、また、口頭による報告の場合も、特別事項がある場合のみ議事録に記録する。

< 事業主任活動報告 活動計画・現状と課題 >

亀浦正行 YMCA サービス・ユース事業主任、林良廣地域奉仕・環境事業主任、新山兼司 EMC 事業主任、杉浦英ファンド事業主任、平野実郎交流事業主任、中原一晃広報事業主任、坂本千春メネット事業主任

< 部長報告 活動計画・現状と課題 >

中部部長 渋谷洋太郎、びわこ部部長 江畑 明(欠席報告書提出)、京都部部長 阪田民明、阪和部部長 坂本 智、中西部部長 松浦孝次、六甲部部長 安行英文、松浦瀬戸山陰部部長 菅原好紀、西中国部部長 桑田隆明、九州部部長 桑原純一郎

< 委員会報告 活動計画・現状と課題 >

高瀬稔彦 2000 推進チーム長 (EMC 事業委員会小委員会)

議案協議

理事提出議案については書記柳慎司が議長を努める

2011年4月9日現在、議決権保有者 21 名 1 名欠席(びわこ部部長江畑明)

【第1号議案】第2回役員会 議事録承認の件

議案提案者 書記 柳 慎司
第2回役員会議事録の承認と、区報への当該議事録掲載に対する了解を求める。 承認

【第2号議案】10-11 年度第3回役員会 第2日目 聖日礼拝で献金贈呈先

議案提案者 理事 仁科保雄
東日本大震災の災害支援金として日本 YMCA 同盟に委ねたい。次期会長・主査研修会時の集合写真を申し込まれた方へ写真を作成発送した残金 36,000 円を三浦克文区報編集委員長よりお預りしたので、併せて委ねたい。 承認

【第3号議案】第13回西日本区大会(広島)会計決算報告の件

議案提案者 直前理事 鈴木誠也、
会計監査報告 神谷尚孝財政監事
第13回西日本区大会(広島)会計決算報告と、会計監査報告、余剰金処分の承認を求めます。 承認

【第4号議案】次年度における次々期理事指名について

議案提案者 直前理事 鈴木誠也
次々期理事候補者等指名委員会に置いて、次々期理事立候補

届とクラブ会長の推薦状を確認しましたので、西中国部岩国クラブ高瀬稔彦ワイズを候補者として指名いたします。承認

【第5号議案】今期メネット国内プロジェクト献金より、50万円を東日本大震災義援金に用途変更する件

議案提案者 理事 仁科保雄、
メネット事業主任 坂本千春

今期、西日本区メネット事業国内プロジェクトは、「豊島神愛館支援」軽自動車の贈呈であります。軽自動車贈呈費残金の中から50万円を、東日本大震災で被災され、父母のもとで育つことの出来なくなった子どもたちへの用途指定献金としたい。議案名については、「今期メネット国内プロジェクト献金より、50万円を日本YMCA同盟を通じ、東日本大震災に被災した子どもたちの支援金に用途変更する件」として承認する。承認

【第6号-01議案】「物品サービス委員会」廃止の件

議案提案者 物品サービス委員長 成瀬晃三
西日本区「物品サービス委員会」を廃止する。物品サービスに関する問題発生時は、西日本区事務所に連絡頂き、必要ならば西日本区理事事務局にて調整あるいは協議し対処する。

承認

【第6号-02議案】物品サービス委員会廃止に伴う諸規則改編の件

議案提案者 物品サービス委員長 成瀬晃三
第6号-01議案が承認された場合、諸規則を以下の通り改編する。

①<西日本区定款施行細則> 第11条 常置委員会
現行 第1項 定款第17条第1項の定めにより次の常置委員会を置く。

1. 事務所運営委員会、2. JWF 管理委員会 3. 奈良傳賞資格審査委員会、4. 文献保存委員会、5. ワイズリーダーシップ開発委員会、6. 情報委員会、7. 財務委員会、8. 区報編集委員会、9. 物品サービス委員会、10. 組織検討・安全対策委員会

改編後

第1項 定款第17条第1項の定めにより次の常置委員会を置く。

1. 事務所運営委員会、2. JWF 管理委員会、3. 奈良傳賞資格審査委員会、4. 文献保存委員会、5. ワイズリーダーシップ開発委員会、6. 情報委員会、7. 財務委員会、8. 区報編集委員会、9. 組織検討・安全対策委員会

②<物品サービス委員会規則> 廃止

今後、ワイズロゴ使用などの管理は事務所並びに理事事務局が行う。

承認(改正日 2011年4月9日 施行日 2011年7月1日として実施)

協議事項

【第1号協議】2009年度-2010年度 西日本区会計 經常会計収支計算書修正の報告の件

杉本隆人直前会計から前期決算変更について詳細資料をもとに説明がなされた。

【第2号協議】 2011～2012年度 西日本区中間決算について

議案提案者 会計 田中雅博

2011～2012年度 西日本区会計 經常会計収支の説明

<委員会報告 活動計画・現状と課題>

ワイズリーダーシップ開発委員会委員長 井之上温代
今期で6年間の任期が無事終わりました。皆様に感謝。

区報編集 三浦克文、組織検討・安全対策 柴田善朗、クリスチャニティー特別 川上 正、

連絡主事 光永尚生 4月1日付けにて公益財団法人の認定を受けたYMCA(大阪・神戸・東京)。

聖日礼拝献金の贈呈(2号議案承認済)

献金額 57,053円 + 36,000円 計 ¥93,053-

協議事項

前日の議案について修正

第4号議案「次年度における次々期理事指名について」議案内容を変更する。

「次々期理事候補者等指名委員会に置いて、次々期理事立候補届とクラブ会長の推薦状を確認しましたので、西中国部岩国クラブ高瀬稔彦ワイズを、立候補者として、指名いたします。」

修正後

「次々期理事候補者等指名委員会において、次々期理事立候補届とクラブ会長の推薦状を確認しましたので、西中国部岩国クラブ高瀬稔彦ワイズを、立候補者として、次々期理事候補者として指名いたします。」

第5号議案名と提案理由を変更とする。

「今期メネット国内プロジェクト献金より、50万円を東日本大震災義援金に用途変更する件」修正後「今期メネット国内プロジェクト献金より、50万円を日本YMCA同盟を通じ、東日本大震災に被災した子供たちの支援金に用途変更する件」

【第1号協議】2010～2011年度 年次代議員会並びに上程議案について

議案提案者 書記 柳慎司

別紙の通り、3月19日付けにて、今年次代議員会を公告致し

ました。又、西日本区定款に基づき P. 50 に記載の事項を議案として上程。 報告

1、第 14 回西日本区大会について

区大会実行委員長 石倉 尚、大会運営委員長 金原弘明、大会テーマの変更「お～きに! 陽気に! 京都から…」から「お～きな! 元気を! 京都から…」へ変更

大会プログラム詳細については、P. 50-51 に記載の事項の説明がなされた。

2、次期準備役員会報告 次期理事 浅岡徹夫

第 8 号議案「東日本大震災で被災された方々を継続的に支援するための献金事業について」5 年以上の長期に渡って取り組むべき事業であるが、次年度以降を拘束することに繋がりがねないので単年度事業の表現に議案を修正する。また西日本区として、今後どのように復興支援していくかを検討する新たな委員会を設置することを追加して全員の承認を頂いた。第 7 号議案メネット国内事業に関しては、東日本大震災で被災された子供たちの支援に変更することに関しても全員の賛同が得られた。9 議案と 3 協議すべてについて承認された。

<報告事項>

- ・書記 柳 慎司 役員会議事進行に感謝
- ・会計 田中雅博 送金等の期限を厳守、会計基準の確定

が重要。処理は会計原則に則り確実にを行う。

・理事事務局長 大槻信二 国際議員の選出期日がせまっている。

・西日本区事務所 北村久美子 各種献金等入金状況の最新版資料を配布した。

・連絡主事 光永尚生 日本 YMCA 同盟は公益法人なので、寄付に関して、控除用領収書の発行ができる。

<監事講評>

行政監事 佐藤典子:EMC の増強に感謝、退会をさせないことも大事。せっかく BC を締結したのだからもっと積極的に交流をすることをお願いします。クラブによっては、ホームページ更新を行っていないところがあります。更新の努力をしてください。

財政監事 神谷尚孝:全体のスムーズな進行に感謝。主任からの部長への連絡事項は、監事にも連絡を頂きたい

聖日早天礼拝献金の贈呈 献金額 57,053 円 +36,000 円
計 93,053 円

YMCA の歌

閉会の祈り クリスチャニティー委員長 田上 正

閉会挨拶・点鐘 西日本区理事 仁科保雄

西日本区第 4 回役員会議事録

日時:2011 年 6 月 11 日(土) 9:30 ~ 10:30

場所:京都市国際交流会館研修室

出席者

< 常任役員 >

仁科保雄理事、鈴木誠也直前理事、柳慎司書記、田中雅博会計

< 部 長 >

渋谷洋太郎中部部長、江畑 明びわこ部部長、阪田民明京都部部長、坂本智阪和部部長、松浦孝次中西部部長、安行英文六甲部部長、菅原好紀瀬戸山陰部部長、桑田隆明西中国部部長、桑原純一郎九州部部長、

< 事業主任 >

Yサ・ユース 亀浦正行、地域奉仕・環境 林良廣、EMC 新山兼司、ファンド 杉浦英、交流 平野実郎、広報 中原一晃、

< 監 事 >行政 佐藤典子、財政 神谷尚孝

<常置委員会>

文献 濱田勉、YLD 井之上温代、情報 石津雅人、区報 三浦克文、組織・安全 柴田善朗、物品 成瀬晃三

<特別委員会>クリスチャニティー 田上正

<小委員会>2000 推進チーム長 高瀬稔彦

<理事事務局>事務局長 大槻信二、山田隆之、坂本哲朗

<事務所>北村久美子(次期準備役員会兼務)

<連絡主事>光永尚生

司会 書記 柳 慎司

1、開会点鐘 理事 仁科保雄

2、ワイズソング斉唱 一同

3、開会の祈り クリスチャニティー委員長 田上正

4、挨拶 理事 仁科保雄、直前理事 鈴木誠也

5、<監事講評>佐藤典子行政幹事は次期準備委員会出席のために挨拶と講評された。

今期の役員の方々の 1 年間の働きに対し、慰労と今までの役員会(1 回~3 回)のスムーズな進行感謝。

第 4 回役員会もスムーズ進行を願う。時には厳しい監事講評

にご容赦下さい。

6、第3回 常任役員会議事録の報告

書記 柳 慎司

<事業主任報告>

- ・特記事項のみ報告、他は年次代議員会資料参照
- ・YMCA サービス・ユース事業主任 亀浦正行
- ・地域奉仕・環境事業主任 林 良廣
- ・EMC事業主任 新山兼司 5月末現在約100名の会員増強。
- ・ファンド事業主任 杉浦 英、
- ・交流事業主任 平野実郎 岩国クラブと鹿児島クラブ DBC 締結。
- ・広報事業主任 中原一晃 区 HP ペットを変更
- ・メネット事業主任 坂本千春 (メネットアワー準備)

<部長報告>年次代議員会資料参照報告

- ・中部部長 渋谷洋太郎
- ・びわこ部部長 江畑 明
- ・京都部部長 阪田民明
- ・阪和部部長 坂本 智
- ・中西部部長 松浦孝次
- ・六甲部部長 安行英文
- ・瀬戸山陰部部長 菅原好紀
- ・西中国部部長 桑田隆明
- ・九州部部長 桑原純一郎

議案協議

議長 理事 仁科保雄

理事提出議案については柳慎司書記が議長を努める。

確認 議決権保有者 19名 2名欠席 (次期理事浅岡徹夫、メネット主任 坂本千春)

【第1号議案】「第3回役員会議事録承認の件」

議案提案者 書記 柳 慎司
承認

協議・報告

【第1号協議】「第14回西日本区大会における聖日礼拝献金および区大会中実施の東日本大震災支援募金についての報告。」

協議提案者 理事 仁科保雄

第14回西日本区大会における2日日実施の聖日礼拝における献金を、東日本大震災支援にあてる。大会期間中、東日本大震災支援募金箱を会場に設置し、参加者より募金を集め、その両献金を日本 YMCA 同盟に寄託したい。

<常置・特別委員会、専任委員報告>

年次代議員会資料参照報告

- ・JWF管理委員会委員長 臼井征郎
- ・文献保存委員会委員長・ヒストリアン 濱田 勉
- ・LD委員会委員長 井之上温代
- ・情報委員会委員長 石津雅人
- ・区報編集委員会委員長 三浦克文
- ・組織検討・安全対策委員会委員長 柴田善朗
- ・物品サービス委員会委員長 成瀬晃三
- ・クリスチャニティー特別委員会委員長 田上 正
- ・2000推進チーム委員長 高瀬稔彦

報告

1、連絡主事 光永尚生:国内外を含め多岐にわたり、東日本大震災に関して多く協力と義捐金の支援に感謝。義捐金の総額約1.1億円の寄付があった。

2、書記 柳 慎司:年次代議員会の資料訂正。皆さまの議事進行に感謝。

役員会で決議された事は、部の役員会・評議会等で確実に各クラブへ連絡頂きたい。

3、会計 田中雅博:6月末で会計決算。何かあれば早急に会計まで、報告相談ください。

4、理事事務局 大槻信二:4月末で東日本大震災の報告を区報にて行う予定。BF代表 8月に来られます。各役員は、次期への引き継ぎを必ず引継書に行ってください。

<監事講評>

財政監事 神谷尚孝:今期役員の方々の1年間の働きに対しに慰労と今までの役員会全体のスムーズな進行感謝。

YMCA の歌

10:25 閉会の祈り

クリスチャニティー特別委員会委員長 田上正

10:27 閉会挨拶・点鐘 理事 仁科保雄

西日本区第3回常任役員会議事録

日時 2011年4月23日16時00分～16時30分
場所 京都ルネサンスビル 京いち
出席者 理事 仁科保雄、次期理事 浅岡徹夫、柳 慎司、
会計 田中雅博
欠席者 直前理事 鈴木誠也
議長 理事 仁科保雄
記録 書記 柳 慎司

議案協議

【議案1】第2役員会 第8号議案「組織のスリム化に向けてPTを設置する件」 PTは常任役員会がその任にあたる。
※本件は、事前に鈴木誠也直前理事に承認を頂きました。

全会一致にて承認

※西日本区定款第7条第6項の規定に則り、常任役員全員の合意によるものを承認とする。

西日本区第4回常任役員会議事録

日時 2011年6月15日(水)～16日(木)
場所 メールによる持ち回り会議
出席者 理事 仁科保雄、直前理事 鈴木誠也、次期理事
浅岡徹夫、書記 柳 慎司、会計 田中雅博

議案協議

亀浦正行YMCAサービス・ユース事業主任よりご提出のありました議案に付いて審議

<議案名> AYC(アジアユースコンボケーション)へユース派遣の件

2011年8月台湾 宜蘭にて開催のアジアユースコンボケーシ

ンに、以下7名を、西日本区より派遣するものとし、一人当たり¥55,000をユースコンボケーション登録費+航空運賃他諸経費の一部として、区YMCAサービス・ユース事業より補助する。6月25日参加者オリエンテーションを京都にて開催予定。

事業委員会承認参加者

①杉本匡隆(神戸学園都市クラブ、コメント)、②上杉佳世(京都グローバルクラブ、コメント)、③室崎絵梨花(広島YMCA野外リーダー)、④久保陽子(奈良クラブ、コメント)、⑤大原陽介(姫路-Y3メンバー)、⑥森本竜馬(姫路-Y3メンバー)、⑦山本ゆり(姫路-Y3メンバー) 承認

西日本区年次代議員会議事録

開催日 2011年6月11日(土)
会場 京都国際交流会館 イベントホール
時間 午前11:00～11:45
議長 理事 仁科保雄
1. 開会宣言・点鐘 理事 仁科保雄
2. ワイズソング斉唱 一同
3. 聖書朗読・開会の祈り 日本YMCA同盟 光永尚生
4. 出席者報告 書記 柳 慎司
代議員108名中82名出席、委任状11名 計93名
定款により定数の3分の2以上の出席、代議員会の成立を宣言

議事

定款第6条第10項により、議長を理事仁科保雄、理事の提出議案は直前理事鈴木誠也が議長を務める。

【1号議案】2010/2011年度西日本区一般年次報告ならびに一般行政監査報告を承認する件 承認

【2号議案】2009/2010年度西日本区決算報告並びに監事

報告を承認する件 承認

【3号議案】2010/2011年度西日本区会計中間報告ならびに中間監査を承認する件

15頁の表記訂正は本決算時に精査して対応する。 承認

【4号議案】2011/2012年度西日本区理事を選出する件

2011/2012年度西日本区理事に浅岡徹夫ワイズ(近江八幡クラブ)を選出。 承認

【5号議案】2011/2012年度西日本区次期理事を選出する件

2011/2012年度西日本区次期理事に成瀬晃三ワイズ(名古屋クラブ)を選出。 承認

【6号議案】2011/2012年度西日本区次々期理事候補者及び監事指名の件

2011/2012年度西日本区次々期理事候補者として高瀬稔彦ワイズ(岩国みなみ)が指名委員会より指名された。 承認
監事指名の件

2011/2012年度 佐藤典子ワイズ(熊本ジェーンズ)、鈴木誠

也ワイズ(神戸ポート)、2012/2013 年度 鈴木誠也ワイズ(神戸ポート)仁科保雄ワイズ(京都キャピタル)が指名された。

承認

【7号議案】2011/2012 年度西日本区役員を承認する件
次期理事浅岡徹夫より2011/2012 年度西日本区役員の報告。

承認

【8号議案】2011/2012 年度理事方針を承認する件
次期理事浅岡徹夫より提出・説明。

承認

【9号議案】2011/2012 年度西日本区会計予算案を承認する件
承認

【10 号議案】第16回西日本区大会のホストクラブおよび開催地を承認する件

次次期理事 成瀬晃三より説明。ホストクラブは四日市クラブ、名古屋クラブ。

2013 年6月1・2(土・日)、ホテル花水木にて開催する。 承認
閉会の祈り

閉会挨拶・閉会点鐘 理事 仁科保雄

編集後記

「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」の主題のもとに理事キャビネットの強い結束と役員皆様の行動力によって、西日本区活動が推し進められてきた14期でした。その働き、成果を第3号に掲載すべく、各方面に原稿をお願いいたしました。西日本区各役員皆様には、なるべく内容が良く分かるように写真を添付していただくよう、ご依頼いたしましたが、紙面の都合上、文字のみになってしまったと、写真を入れなかったお詫びの原稿もありました。ともあれ、14期の皆様の中には期当初の横浜国際大会から、部会、東日本大震災対応と息つく暇もないワイズメンも多数おられました。よく、倒れないかと心配いたしました。そこはワイズスピリットで乗り切られたようです。

また、EMC事業では京都ZEROクラブ、岩国みなみクラブが誕生し、西日本区前進に大きな力が加えられました。このような記録の集大成も含め、編集いたしましたが、西日本区活動の全てを掲載できなかったことをお許しください。


原稿収集、編集にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。


【区報編集委員会】


委員長	三浦 克文 (岡山)	委員	蔵知 武 (岡山)
委員	森本 榮三 (大阪高槻)	委員	柳 慎司 (京都キャピタル)
委員	大槻 信二 (京都センチュリー)		


2010.7.1 ~ 2011.6.30 ご逝去者


ワイズメンズクラブへのご奉仕を感謝し深く哀悼の意を表します


お名前	藤川 豊基	
没日	2010.07.21	
生年月日	1946.07.20	
享年	64歳	
所属クラブ	大阪ヴェクセル	
入会	1993.07月大阪土佐堀クラブ入会	
	1997.07月大阪ヴェクセルクラブチャーターメンバー	

お名前	西田 卓史	
没日	2011.01.11	
生年月日	1960.07.02	
享年	50歳	
所属クラブ	大阪土佐堀クラブ	
入会	2009.06月大阪土佐堀クラブ入会	


お名前	宮本 隼史	
没日	2010.08.05	
生年月日	1939.05.19	
享年	71歳	
所属クラブ	京都パレスクラブ	
入会	1971.01 京都パレスクラブチャーターメンバー	


お名前	荒木 潔	
没日	2011.01.22	
生年月日	1931.04.09	
享年	79歳	
所属クラブ	神戸西クラブ	
入会	1961.05 神戸西クラブチャーターメンバー	


お名前	高森 敬久	
没日	2010.08.11	
生年月日	1928.05.04	
享年	82歳	
所属クラブ	名古屋クラブ	
入会	2007.07 名古屋クラブ入会	


お名前	山下 孝生	
没日	2011.01.31	
生年月日	1958.03.09	
享年	52歳	
所属クラブ	奈良クラブ	
入会	2008.11 奈良クラブ入会	


お名前	民秋 史也	
没日	2010.08.17	
生年月日	1938.06.10	
享年	72歳	
所属クラブ	広島クラブ	
入会	1999.06 広島クラブ入会	

お名前	谷川 武繁	
没日	2011.03.19	
生年月日	1955.04.24	
享年	55歳	
所属クラブ	京都トップスクラブ	
入会	2006.02月京都トップスクラブ入会	

お名前	植田 学	
没日	2010.08.20	
生年月日	1970.05.16	
享年	40歳	
所属クラブ	京都パレスクラブ	
入会	2010.03 京都パレスクラブ入会	

お名前	増田 健郎	
没日	2011.06.06	
生年月日	1948.03.05	
享年	63歳	
所属クラブ	大阪千里クラブ	
入会	1994.09月大阪千里クラブ入会	

お名前	丹羽 武夫	
没日	2010.12.20	
生年月日	1940.02.19	
享年	70歳	
所属クラブ	神戸ポートクラブ	
入会	1988.05 神戸ポートクラブチャーターメンバー	

お名前	長井 潤	
没日	2011.06.06	
生年月日	1950.06.17	
享年	60歳	
所属クラブ	名古屋クラブ	
入会	1993.01月名古屋クラブ入会	

第

ワイズメンズクラブ国際協会

15 回 西日本区 大会

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



人と人とのシンフォニー
響かそうワイズメン in びわ湖

2012年

6月9日(土)-10日(日)

大会 滋賀県立文化産業交流会館

懇親会 長浜ロイヤルホテル

in shiga

ホストクラブ/長浜ワイズメンズクラブ

協力クラブ/近江八幡クラブ・彦根クラブ・彦根シャトークラブ・草津クラブ・滋賀蒲生野クラブ・大津クラブ 協働/滋賀 YMCA



もくじ

「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に—泰然自若の精神で—」	理事 仁科 保雄	1
ごあいさつ		
2010-2011年度仁科保雄理事と歩んだ1年	次期理事 浅岡 徹夫	3
会員増強はクラブ活動の充実から!	直前理事 鈴木 誠也	3
竣工式	書記 柳 慎司	4
一年間の仕事を終えて	会計 田中 雅博	4
ワイズ活動への感謝	行政監事 佐藤 典子	5
経常会計の推移	財政監事 神谷 尚孝	5
ワイズメンズクラブ国際協会から		
国際協会のビジョン	国際会長 藤井 寛敏	6
西日本区のお働きに感謝	アジア地域会長 高田 一彦	7
日本YMCA同盟から		
あらためて「泰然自若の精神で」を考える~ワイズスピリットが飛翔つとき~	日本YMCA同盟連絡主事 光永 尚生	8
2010~2011会計報告	会計 田中 雅博	9
監事報告	財政監事 神谷 尚孝	13
事業活動報告		
時空を超えて浪漫は、羽ばたいている	Yサ・ユース事業主任 亀浦 正行	14
2010~2011年度地域奉仕・環境事業報告	地域奉仕・環境事業主任 林 良廣	15
2010~2011年度EMC事業報告	EMC事業主任 新山 兼司	16
ファンド事業(BF・EF・JWF)報告	ファンド事業主任 杉浦 英	17
ふれあいあつてこそワイズ完結	交流事業主任 平野 実郎	18
広めよう、ワイズスピリットを胸に	広報事業主任 中原 一晃	19
終わってみれば、感謝。。	メネット事業主任 坂本 千春	19
エルマー・クロウ賞		20
Yサ・ASF・ワンコイン 献金報告		21
CS・TOF・FF・RBM献金報告		22
BF献金報告		24
EF・JWF献金		25
部活動報告		
良いコミュニケーションを	中部部長 澁谷洋太郎	27
すばらしい事業ありがとう	びわこ部部長 江畑 明	27
部長職を終えて	京都部部長 阪田 民明	28
新しい阪和部に期待して	阪和部部長 坂本 智	29
拡がりのある活動を求めて	中西部部長 松浦 孝次	30
各クラブの活動・ご支援に感謝	六甲部部長 安行 英文	31
感謝の一年「この素晴らしきワイズライフ」	瀬戸山陰部部長 菅原 好紀	33
感謝の一年	西中国部部長 桑田 隆明	34
九州部LT委員会で次世代へワイズ魂を引き継ぎます	九州部部長 桑原純一郎	35
常置・特別委員会報告		
ワイズは学びの場	ワイズリーダーシップ開発委員長 井之上 温代	36
YYYの架け橋を	YYL委員 平野 実郎	37
物品サービス委員会廃止	物品サービス委員長 成瀬 晃三	37
『猛省! 皆様に感謝いたします』	西日本区2000推進チーム委員長 高瀬 稔彦	38
JWF管理委員会	JWF管理委員長 白井 征郎	38
クリスチャニティー特別委員会活動報告	クリスチャニティー特別委員長 田上 正	39
西日本区活動の記録を残す	区報編集委員長 三浦 克文	39
伝わりましたか? 皆様へ!	理事事務局局長 大槻 信二	40
第14回西日本区大会報告『おきな! 元気を! 京都から!』	第14回西日本区大会実行委員長 石倉 尚	41
第14回西日本区大会アルバム		42
2010~2011年度西日本区表彰		44
奈良傳賞受賞おめでとうございます		46
最優秀ワイズメン賞・最優秀クラブ賞受賞	今井利子、山本一博	47
西日本区第3回役員会議事録		48
西日本区第4回役員会議事録		50
西日本区第3回・第4回常任役員会議事録		52
西日本区年次代議員会議事録		52
編集後記		53
2010.7.1~2011.6.30ご逝去者		54

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事事務局 / 〒611-0021 宇治市宇治御廟67-1 レオーネ南陵105 TEL 0774-28-5885 FAX 0774-28-5888
E-mail: die@pa3.so-net.ne.jp

西日本区事務所 / 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-5-2 榊上野ビル2F TEL 06-4805-0570 FAX 06-4805-0571
E-mail: info@ys-west.or.jp